

平成22年度

小山町の教育

小山町教育委員会



町章

一般公募により、昭和45年1月1日に制定しました。小山町のイニシャルOを基本にして、その頂点に町のシンボル富士山を配し、図案化したものです。考案者は用沢の山崎先一さんで、富士、箱根、丹沢の連峰に囲まれた緑のオアシスを簡潔に表現し、その中に町民の力強い団結、希望、勇気を表しています。

***** 小山町民憲章 *****

わたくしたちは、富士のもと水と緑にめぐまれていることに誇りをもち、金太郎のように、健康で、明るい、ゆたかな町づくりをすすめます。

- 1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。
- 1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。
- 1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。
- 1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。
- 1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

町制施行70周年記念にあわせて一般町民に公募、昭和57年12月5日制定。

町の木 / ふじざくら

富士山麓に多く自生し、樹高は3～6mの小喬木で、小さな花をつける。花色は淡紅色で、ガクが赤味を帯びている。まめ桜とも呼ばれ、品種は多く葉も小さくて若木でもよく花をつけるので、盆栽に適している。4月～6月にかけて、葉が伸びる前、一斉に開花する。



町の花 / なのはな

10月ごろ、^{たかうね}高畝にした^{たんぼ}田圃に種をまき、富士山の温かく、きれいな伏流水で冬を越し、3～4月に黄色い十字花を咲かす。花はアブラナに似てやや小形である。また開花する前の柔らかい蕾は、茎から摘まれ、塩漬けにして地域の特産物、水掛菜(とう菜)とされ各地に出荷している。

町の鳥 / うぐいす

「ホーホケキョ」の鳴き声はだれでも知っている。春を告げる代表的な鳥で梅の木にとまっている姿は昔から絵の題材に。スズメよりやや小さく、体色は地味でオスはメスより大きく、その差が極端。「ケキョ」の部分^{ケキョ}が富士山を境に西に行けば長く、北に行けば短くなるといわれ、中部地方の鳴き声^{ケキョ}がもっともよいという。特に須走に多く生息。



目 次

小山町の概要	1
人口・世帯数の推移	2
教育行政	
教育委員会・教育委員および教育長	3
教育委員会機構図および事務分掌	5
平成22年度基本方針・教育施策	6
教育費予算	15
学校教育	
学校教育関係主要事業	18
小・中学校、幼稚園一覧表	20
小山町立学校通学区一覧	21
学校の位置と標高	21
小・中学校、幼稚園施設の状況	22
小学校在籍者数の推移	23
中学校在籍者数の推移	23
幼稚園在園者数の推移	24
教職員の構成	24
進学と就職	25
今後5か年の就学児童推定表	25
就学奨励援助	26
育英奨学資金	28
学校保健	29
日本スポーツ振興センター	31
学校給食	32
社会教育	
社会教育委員・生涯学習	33
芸術文化	39
文化財保護	40
中央公民館・児童館	44
図書館	45
自主文化関係事業	47
社会体育	48
小山町教育機関配置図	51

小山町の概要

位置と地勢

小山町は、静岡県の中東端(北緯35°21′ 東経138°59′)に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している。西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と北東方は丹沢山地(不老山930m)に東南方は箱根外輪山(金時山1,213m)と足柄山嶺(足柄峠759m)に囲まれ、東西に26.04km、南北に13.33kmと東西に長く伸び、面積は136.13km²である。市街地、農耕地は、海拔およそ300～800mの間にわたる緩傾斜地帯にある。河川は、源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ酒匂川となって相模湾にそそいでいる。気候は、気温の年較差が大きく湿度の高い地形で、冬は寒さが厳しいが、盛夏の朝夕の気温は低く、しのぎ易い。

当地を主要交通幹線道としての東名高速道路、国道246号、国道138号、東富士五湖道路そして県道8路線が走り、JR御殿場線と共に、産業、観光両面に重要な役割を果たしている。

沿革

当地は、平安時代後半から戦国時代初期にかけて、御殿場市の鮎沢辺りを中心とする伊勢神宮の荘園、大沼鮎沢御厨の一部であったと言われている。中世には竹之下の合戦が行われ、足柄峠や籠坂峠は交通の要衝となっていたという記録も残っている。江戸時代には、町域の大部分が小田原藩領だった。しかし、宝永4年(1707)の富士噴火により全村幕府領となったものの、その後15か村は小田原藩領に復すこととなった。

明治になり、いく度かの変遷を経て、明治22年町村制の施行により六合村(小山、生土、中島、柳島、湯船、藤曲の各旧村)、菅沼村(旧菅沼村)足柄村(竹之下<所領>、新柴、桑木の各旧村)、北郷村(用沢、棚頭、大御神、中日向、上野、阿多野、吉久保、下古城、大胡田、上古城、下小林、一色、古沢の各旧村)、須走村(旧須走村)の5か村に統合された。

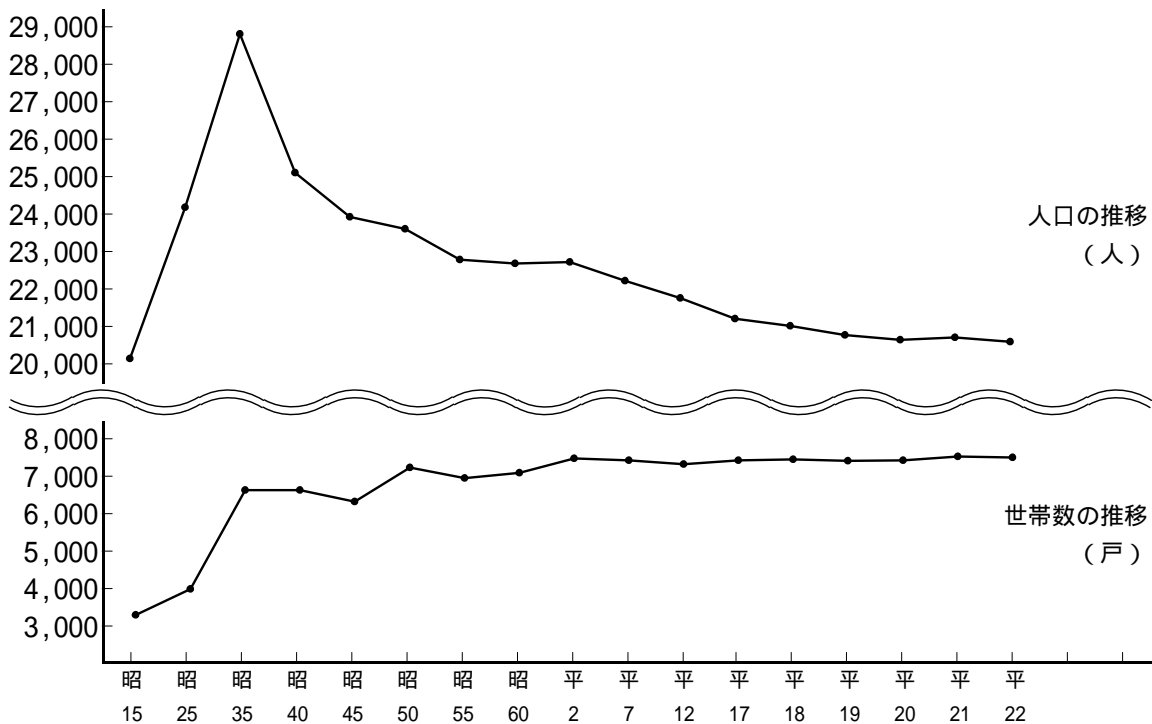
大正元年8月1日に六合村と菅沼村が合併して町制をしき、小山町となった。その後、町村合併促進法施行により、昭和30年4月1日には足柄村が、昭和31年8月1日には北郷村が、昭和31年9月30日には須走村がそれぞれ小山町に合併し、新小山町が誕生、現在の町域に拡大した。

人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

地区 年	小 山		足 柄		北 郷		須 走		計	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
昭和15年	2,345	13,912	277	1,632	649	4,189	92	433	3,363	20,166
25年	2,844	16,803	337	1,961	753	4,922	113	592	4,047	24,278
35年	2,887	15,418	288	1,615	628	3,962	2,869	7,994	6,672	28,989
40年	2,990	14,606	298	1,565	694	3,816	2,691	5,232	6,673	25,219
45年	2,934	13,543	338	1,549	794	3,959	2,300	4,966	6,366	24,017
50年	3,460	12,228	403	1,675	1,179	4,817	2,219	4,976	7,261	23,696
55年	3,080	10,989	399	1,641	1,343	5,437	2,165	4,785	6,987	22,852
60年	3,082	10,789	432	1,676	1,491	5,777	2,120	4,512	7,125	22,754
平成 2年	3,132	10,345	424	1,711	1,553	5,911	2,393	4,823	7,502	22,790
7年	2,945	9,647	473	1,755	1,688	6,104	2,354	4,782	7,460	22,288
12年	2,710	8,799	550	2,006	1,698	6,036	2,396	4,973	7,354	21,814
17年	2,595	8,049	608	2,068	1,745	5,909	2,511	5,225	7,459	21,251
18年	2,591	7,926	618	2,075	1,777	5,909	2,495	5,143	7,481	21,053
19年	2,590	7,858	630	2,113	1,799	5,853	2,426	4,988	7,445	20,812
20年	2,595	7,733	642	2,111	1,797	5,863	2,423	4,970	7,457	20,677
21年	2,576	7,618	652	2,129	1,823	5,893	2,500	5,098	7,551	20,738
22年	2,562	7,529	648	2,119	1,831	5,912	2,493	5,062	7,534	20,622

グラフでみる人口・世帯数の推移



教育行政

教育委員会

〔教育委員および教育長〕

職名	氏名	性別	任期
委員長	尾崎 宏也	男	平成22年 9月30日
委員 (委員長職務代理者)	鈴木 俊一	男	平成23年 7月 2日
委員	米山 珠江	女	平成24年 3月31日
〃	齋藤 弘人	男	平成24年 3月31日
〃	吉岡 道隆	男	平成24年11月30日
教育長	戸枝 浩	男	平成24年11月30日

〔歴代教育委員長・教育長〕

<教育委員長>

<教育長>

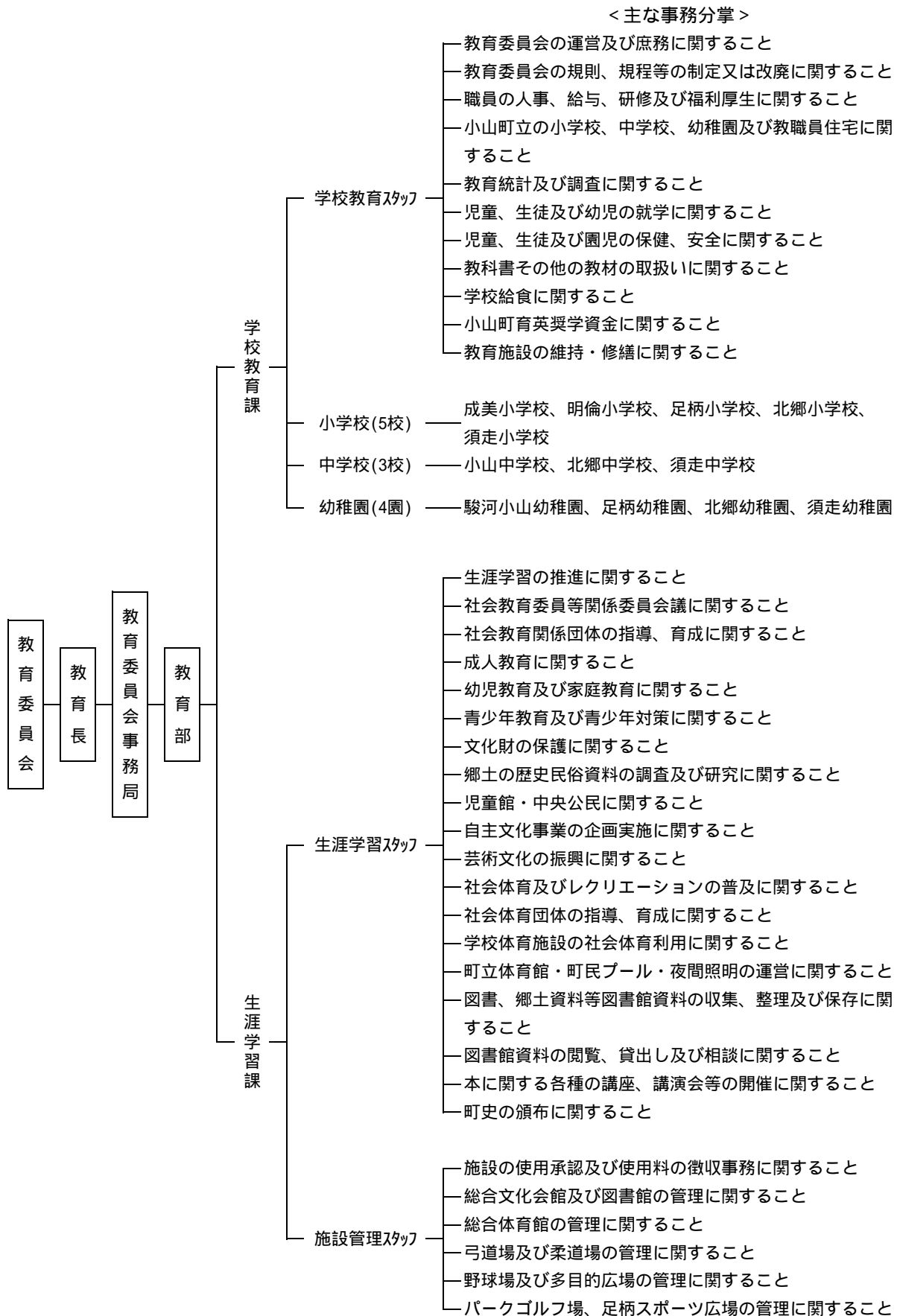
氏名	就任年月日	退任年月日
小野 義則	昭和32年 9月 1日	昭和42年 9月30日
稲 鉄房	昭和42年10月13日	昭和46年 4月 9日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和51年 4月 1日	昭和55年 9月30日
湯山 英夫	昭和55年12月 3日	昭和58年 2月26日
米山 豊彦	昭和58年 7月 4日	平成 4年 3月31日
野木 美佑	平成 4年 4月 1日	平成 8年 6月30日
喜多 淳隆	平成 8年 7月 2日	平成12年11月30日
横山 明夫	平成12年12月 1日	平成14年 9月30日
米山 彰	平成14年10月 1日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成14年 8月11日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成19年 7月 4日	平成20年11月30日
尾崎 宏也	平成20年12月 1日	現 在

氏名	就任年月日	退任年月日
尾崎 幸雄	昭和33年10月 1日	昭和49年 3月 9日
池谷 典男	昭和49年 4月17日	昭和53年 3月22日
渡辺 諄一	昭和53年 4月20日	昭和54年 9月30日
	昭和54年12月12日	昭和55年 9月30日
天野 隆	昭和55年12月10日	昭和63年11月30日
稲 鈿泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
嶋田 實雄	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 1日
岩田 正憲	平成 9年 4月21日	平成16年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	現 在

〔歴代教育委員〕

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
永原 正雄	昭和31年10月 1日	昭和32年 7月20日	藤曲 秀夫	昭和61年10月 1日	昭和62年 7月11日
小見山閻一	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日	岩田喜久治	昭和62年 7月16日	平成 2年 9月30日
芹澤 寛哉	昭和31年10月 1日	昭和35年 9月30日	稲 鈿泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
小野 義則	昭和31年10月 1日	昭和42年 9月30日	喜多 淳隆	昭和63年12月 1日	平成12年11月30日
湯山 松與	昭和31年10月 1日	昭和49年12月17日	福山 宗順	平成 2年10月 1日	平成 6年 9月30日
長田 富雄	昭和32年 8月30日	昭和35年 9月30日	嶋田 實雄	平成 4年 4月 1日	平成 9年 4月 1日
尾崎 幸雄	昭和32年12月24日	昭和49年 3月 9日	田代 六男	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 7日
小見山権十	昭和35年10月14日	昭和39年 9月30日	横山 明夫	平成 6年10月 1日	平成14年 9月30日
田代 和男	昭和35年10月14日	昭和43年 9月30日	末光 愛正	平成 8年 7月 1日	平成11年 7月 2日
稲 鉄房	昭和39年10月 1日	昭和46年 4月 9日	米山 元	平成 9年 4月15日	平成11年 4月 9日
高村 一男	昭和42年12月15日	昭和46年 4月 9日	岩田 正憲	平成 9年 4月15日	平成16年11月30日
池谷 二市	昭和43年10月 3日	昭和47年10月 2日	米山 彰	平成11年 5月18日	平成18年 7月 7日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日	関 隆秀	平成11年 7月 3日	平成19年 7月 2日
小見山勘一	昭和46年 6月15日	昭和54年 9月30日	山本みどり	平成12年12月 1日	平成20年11月30日
鈴木 繁	昭和47年10月 3日	昭和50年 8月19日	池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
池谷 典男	昭和49年 3月23日	昭和53年 3月22日	尾崎 宏也	平成14年10月 1日	現 在
湯山 英夫	昭和50年 4月 1日	昭和58年 2月26日	米山 珠江	平成18年 8月11日	現 在
渡辺 諄一	昭和50年10月 9日 昭和54年11月22日	昭和54年 9月30日 昭和55年 9月30日	鈴木 俊一	平成19年 7月 3日	現 在
米山 豊彦	昭和51年 4月 1日	平成 4年 3月31日	齊藤 広人	平成20年 4月 1日	現 在
岩田 章	昭和53年 7月26日	昭和61年 7月25日	吉岡 道隆	平成20年12月 1日	現 在
岩田 亮一	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日	戸枝 浩	平成20年12月 1日	現 在
天野 隆	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日			
野木 美佑	昭和58年 7月 2日	平成 8年 6月30日			

教育委員会機構図および事務分掌



平成22年度基本方針・教育施策

1 基本方針

近年、国際化・情報化の進展、少子・高齢化の進行、価値観の多様化など国内外の状況の急速な変化があり、国は、これらの変化に対応すべく、平成18年に教育基本法、平成19年に教育3法を改正、平成21年度に子ども・若者育成支援推進法を制定するとともに学習指導要領の改正や教育振興基本計画の策定など、様々な改革や取り組みが進んでいる状況です。

県教育委員会は、静岡県教育計画である「人づくり」2010プランにおいて、精神的に自立し、思いやりの心を持って、何かができる「未来をひらく『意味ある人』づくり」を基本目標とし、「『豊かな感性、確かな知性、健やかな心身』の育成」を基本方針としています。「生涯学習社会を生きる人」として、一人一人が、生涯にわたり、あらゆる学習機会を通じて、これらを育てていくことこそ、「静岡の教育改革」が目指すものという理解が大切であると考えます。

今日、青少年の問題行動がしばしば社会問題として論議を呼んでいるところですが、学校、家庭、社会が連携して諸計画を進め、「未来をひらく『意味ある人』づくり」の観点から考えていくことが重要です。また、様々な価値を認め個々の考えを伸ばしていくということで、学校でも地域や生涯学習センターなどとの連携を更に深めていくことも大切であると考えます。

今、ニートと呼ばれる学校にも行かず就職もしない若い世代が、厚生労働省の調査で、64万人とも言われています。この社会現象は、将来の日本を担う若者を育てる中で大きな課題の1つです。さらに、自殺者の増加や児童虐待の増加に対処するため、自己肯定感を育むことが重要です。心の教育を基本に据え、「確かな学力」の育成に努め、また「こころざし」を持った子供を育てる教育を更に推進する必要があります。その他に環境問題、国際化、薬物乱用防止教育、不審者対策等の多くの問題があるのが現状ですが、その現状をよく認識し、地域や関係機関との連携・協力を得て対策をとる必要があると考えます。

小山町教育委員会では、このような状況と現状を踏まえながら、各市町教育委員会や関係機関と連携し、環境づくりや体制づくりを進め、静岡県教育委員会の教育施策を基盤に据え、次の取組みを進めていきます。

- (1) 生涯学習の環境整備
- (2) 幼稚園、小・中学校教育の充実
- (3) 青少年を育む家庭教育の推進
- (4) 豊かな人生を創出する社会教育の充実
- (5) 健康で明るい人生を支えるスポーツの振興
- (6) 地域に根ざした小山町文化の継承と創造
- (7) 「明日の社会」をつくる教育の推進

(注)「意味ある人」
「静岡県人づくり百年の計委員会」から提言された県の人づくりの理念です。提言の「意味ある人」とは地域社会の変化に対応し、新しい世紀に生き生きとした存在感のある人のことであり、精神的に自立している人、思いやりのある人、何かができる人という3つの条件を備えていることを目指しています。

小山町の構想(総合計画：将来像)
「富士のふもと 人々のふれあう
心豊かなふるさと・おやま」

静岡県の基本目標(県教育計画)
「未来をひらく『意味ある人』づくり」

基本目標(教育・文化)
「次代を担う心豊かな人づくり
と文化のかおり高いまち」

基本方針
「豊かな感性、確かな知性、
健やかな心身」の育成

- 1 だれもが楽しく学べる環境づくり
- 1 - 1 社会教育を中心とした生涯学習体系の整備
- 1 - 2 スポーツ・レクリエーションの推進
- 2 地域に根ざした学校教育の充実
- 3 とともに学び、ふれあう家庭・地域社会
- 4 豊かな地域文化の創造
- 5 国際交流・都市間交流の推進

- 1 生涯学習の基盤整備 - 「生涯学習社会を生きる人」を支える -
- 2 学校教育の充実 - 「こころざし」を持った子どもを育てる -
- 3 家庭における教育の充実 - 「人としての在り方・生き方」を学ぶ -
- 4 社会における教育の充実 - 「かわり」を通して自らを高める -
- 5 現代の重要課題に関する教育の推進 - 夢ある「明日の社会」をつくる -

「次代を担う心豊かな人づくりと文化のかおり高いまち」

1 生涯学習の環境整備(生涯学習推進体制の整備、生涯学習の拠点施設の整備充実、生涯学習情報の提供、通学合宿の実施、学校支援地域本部の体制整備と事業の推進)

2 幼稚園・小学校・中学校教育の充実(温かさの実感できる幼稚園、明るく楽しい小学校・学ぶ喜びのある中学校・可能性を伸ばし夢のある特別支援学級)

3 青少年を育む家庭教育の推進(青少年を健やかに育む、家庭教育の充実、青少年を取り巻く環境の整備、相談事業の推進、育英制度の推進)

4 豊かな人生を創出する社会教育の充実(学習機会の提供と充実、社会教育団体への助成、人材の育成と団体の自立支援)

5 健康で明るい人生を支えるスポーツの振興(各種スポーツ大会の開催及び参加、各種スポーツ教室の開催、スポーツ指導者の養成、スポーツ施設の充実と開放、各種スポーツ団体の育成、助成)

6 地域に根ざした文化の継承と創造(文化活動の推進、文化財の保護、図書館活動の充実、生涯学習社会の指導者づくり・施設の活用の推進)

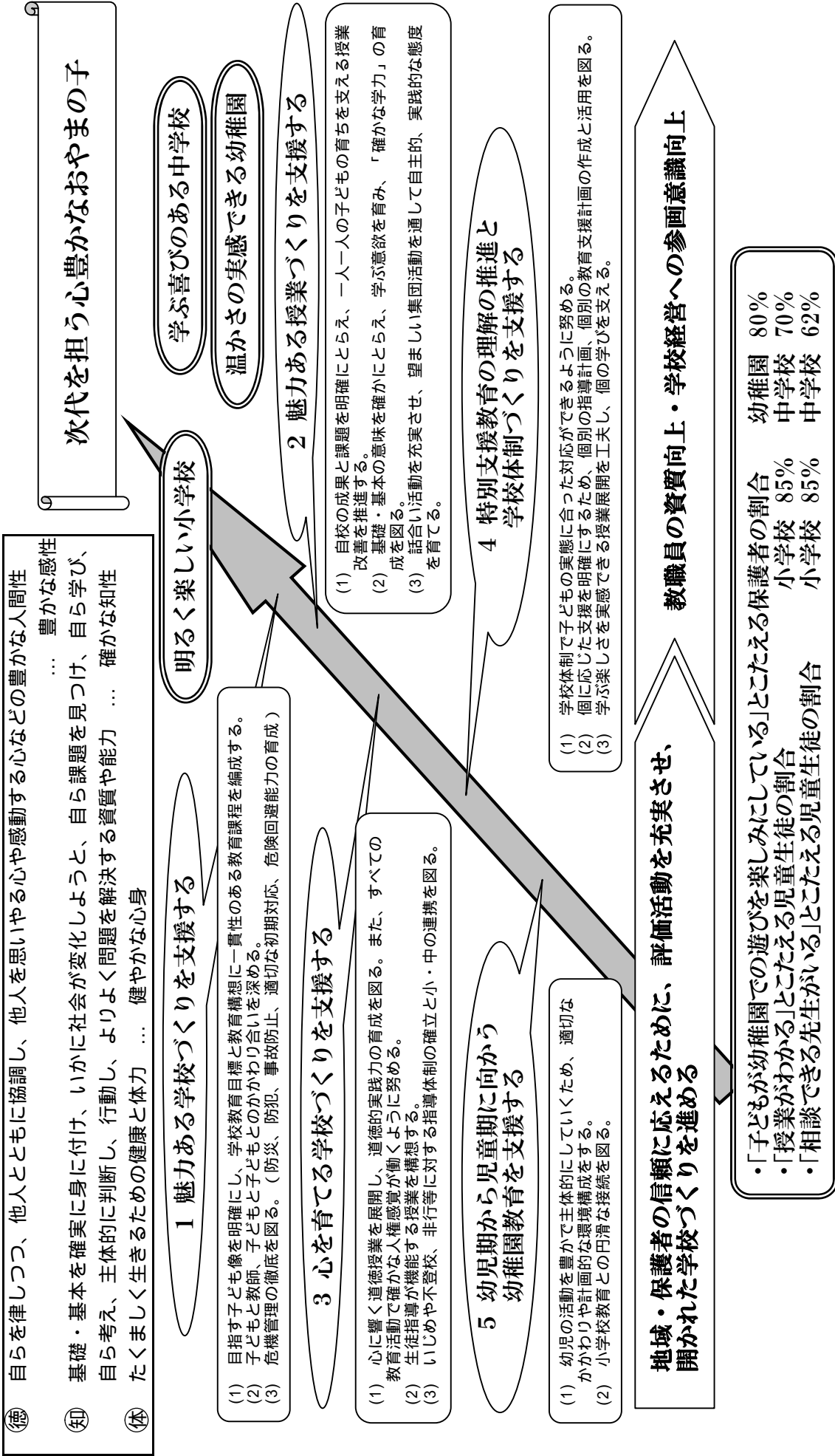
7 「明日の社会」をつくる教育の推進(明るく豊かな共生社会の形成を目指す、あいさつを交わす町の推進、異文化との交流と自然との共生の実現、民間活力活用の検討)

学習指導要領の
基本理念
「生きる力」を
はぐくむ

成果指標

「子どもが幼稚園での遊びを楽しみにしている」と答える保護者の割合	幼稚園 8 0 %
「授業がわかる」と答える児童生徒の割合	小学校 8 5 % 中学校 7 0 %
「相談できる先生がいる」と答える児童生徒の割合	小学校 8 5 % 中学校 6 2 %
自主文化事業事業入場者の満足度	8 5 %

小山町教育委員会学校教育課 平成22年度指導方針



2 教育施策

(1) 生涯学習の環境整備

「意味ある人」の育成のためには、地域の子どもを温かく見守り、ときには厳しく鍛えることが必要だと言われています。「地域の子どもは地域が育てる」ことが地域コミュニティづくりともなります。今、地域の教育力に期待することが多くある中で、その取り組みの充実と子どもたちの学習意欲が一緒になることが望めます。地域の魅力を子どもたちが見つける中で、日本の伝統文化の認識や社会性を身につけることが望ましいと考えます。

「生涯学習社会を生きる人」に対する、長寿化や価値観の多様化などに伴う多様なライフスタイルに即した学習の場の提供や、文化やスポーツなどに親しむとともに国際化や情報化に対応し、自らの人生を豊かにする学習ニーズに対応する基盤整備の推進が必要です。

生涯学習の環境整備に、あらゆる機会をとらえて取り組みます。

生涯学習推進体制の整備

- ・生涯学習推進委員会の開催による推進施策の検討
- ・生涯学習推進大会、推進講演会の実施
- ・生涯学習フェスティバルの実施

生涯学習の拠点施設の整備充実

- ・生涯学習センター施設・設備の充実
- ・小山町立体育館の存続の検討

生涯学習情報の提供

- ・生涯学習情報誌「いつもチャレンジ生涯学習」の全戸配布

学校支援地域本部の体制整備と事業の推進

- ・ボランティアバンクの推進
- ・学校教育へのボランティア支援

(2) 幼稚園・小学校・中学校教育の充実

学習指導要領の基本理念である「『生きる力』をはぐくむ」ことが重要です。

『生きる力』：変化の激しいこれからの社会を生きるための、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体のバランスのとれた力

学校は開かれた学校を目指し、学校評議員制度を推進し、地域の理解と協力を得ながら信頼を深めるとともに、学校経営に外部の方々の御意見をいただきながら学校経営を充実させます。さらに、学校自ら学校評価を行い、その結果を公表するとともに、次年度の学校経営に反映し、学校経営を充実させます。

町内全幼稚園・小・中学校でLD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒の特別支援教育の研究を進め、支援チームによる巡回相談を行うとともに、コーディネーターの設置、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成等を実施し、特別支援教育を充実します。

食に関して、BSE、鳥インフルエンザ、偽装表示、残留農薬等の問題が生じていますが、学校給食の安心安全確保のため、学校給食用食品の安全確保、衛生管理の徹底等に努めます。

教育環境の向上のため小山幼稚園と駿河幼稚園を統合し、平成22年4月1日に駿河小山幼稚園が開園しましたが、より良い園経営に努めます。

温かさの実感できる幼稚園

幼稚園教育は、生涯にわたる人間形成を培うための大切な時期であり、家庭との連携を図りながら生きる力の基礎の育成に努める時期と考えます。「意味ある人」をつくるために、「生きる力をはぐくむ」知・徳・体の調和のとれた教育の充実が求められています。

幼児期から児童期に向かう幼稚園教育は、学校教育への導入として大切な時期です。人とのかかわり方や基本的な生活習慣、自立と共同の態度及び多様な体験を通して豊かな感性を育て、創造性を豊かにすることにより、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼稚園教育の充実に努めます。

- ・ 幼児との信頼関係を十分に築き、心身の調和のとれた発達の基礎を培う。
- ・ 幼児の就学指導及び保護者の相談、園経営への助言などを行う子ども相談員を、学校教育課に配置する。
- ・ 障害児支援等保育の充実と安全のための支援員を配置をする。
- ・ 図書等の備品の充実を図る。
- ・ 教職員研修を推進をする。（幼稚園研究会、公開保育、研究発表、教育研究奨励賞、研修会派遣）
- ・ 幼児教育の支援に努める。（わくわくランド等）
- ・ 重点目標の開示を町の広報誌等を用いて実施する。
- ・ 国際理解の育成に努める。（ALTの試行）
- ・ 開かれた幼稚園を目指しての取り組みを進める。（幼稚園まつり、町ホームページの活用、外部評価の検討等）
- ・ 学校評価を実施する。
- ・ 教育課程改訂に関する研究を進める。
- ・ 害虫の駆除等の幼稚園環境の整備に努める。
- ・ 遊具の保守点検等施設設備の整備に努める。
- ・ 園児の安全確保に努める。
- ・ インフルエンザ対策に努める。
- ・ 備品台帳の電子データ化を進める。

明るく楽しい小学校・学ぶ喜びのある中学校・可能性を伸ばし夢のある特別支援学級

小・中学校では、「意味ある人」をつくるために生きる力をはぐくむ、知・徳・体の調和のとれた教育の充実が求められています。

基礎・基本をおさえて魅力ある授業を構築するとともに、自ら学び自ら考え、正しい判断ができる力を養います。

県教育委員会にスクールカウンセラーの配置を昨年度に引き続き要請し、子どもの悩みや相談に応えられる体制づくりに努めます。

県教育委員会の方針のもと、退職した各教科のベテラン教師を学校現場に派遣して、教師を指導し、魅力ある授業づくりに努めます。

危機管理意識を高め、適切な学校運営に努めます。

- ・自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・人権尊重、生命尊重の実践力を育てる。
- ・豊かな人間性、指導力の向上のために、教職員の研修を進める。(小山町教育委員会の研究指定校の設置、授業研修会の実施、校内研修の充実、特別支援教育活動の充実、教育研究奨励賞の実施、教育研修費等の交付、教職員の初任者研修等)
- ・児童生徒の基礎学力の定着を図るとともに、評価の充実に努める。(基礎学力の充実計画の推進、少人数・TT授業の実施、選択教科の充実、25人以上の児童が在籍する小学校1年の全学級へ小1支援員の配置、中学校教科指導の充実のための非常勤講師の派遣、体力・運動能力の育成、読書時間の確保、進路指導の充実等)
- ・不登校・生徒指導対策を進める。(生徒指導連絡会の開催、スクールカウンセラーの配置、いじめ対策委員会の活用等)
- ・児童生徒の就学指導、児童生徒及び保護者の相談、学校経営への助言などを行う子ども相談員を、学校教育課に配置する。
- ・全小・中学校に事務員(臨時等)を配置し、学校事務の充実に図る。
- ・開かれた学校を目指しての取り組みを進める。(学校だよりの発信、学校評議員制度の活用、外部評価の導入、重点目標の全校開示、町ホームページの活用等)
- ・情報教育の充実に図る。(教育用パソコン及び校内LANの有効利用等)
- ・国際化教育を推進する。(小・中学校へのALTの派遣、教職員の海外研修等)
- ・地域教材等の活用を図る。
- ・学校教育環境の充実に図る。(施設・設備・教材備品の充実、学校図書の利用と充実、遊具・体育器具の点検・保守等)
- ・学校給食の安全・充実に図る。(調理施設及び備品の点検と充実、研修会の実施、給食委員会の開催、試食会の実施等)
- ・就学奨励・援助を推進する。(要保護・準要保護児童生徒への学用品・給食・医療費の援助、特別支援学級在籍者への奨励費の支給、遠距離通学者への支援等)
- ・「ことばの教室」を町で単独設置することが困難なため、御殿場市教育委員会が設置している教室の運営費の一部を負担し、該当幼児・児童の支援を進める。
- ・中学校の進路指導・部活動の支援を進める。
- ・児童生徒の学校内外における安全、安心を図る。(諸計画案の作成・訓練の実施、防犯ホイッスル及び防犯ブザーの配付、町との連携、地震等の防災教育の実施等)
- ・豊かな体験活動を教育課程に位置づける。
- ・ボランティア活動の奨励に努める。
- ・心の教育を推進する。(道徳授業の時数確保と充実、基本的生活習慣の定着、教育相談の実施等)
- ・数値目標を学校目標に積極的に使うよう努める。
- ・学校評価を実施し、公開する。
- ・特別支援員を、必要な学校に配置する。
- ・教育課程改訂に関する研究を進める。
- ・インフルエンザ対策に努める。
- ・備品台帳の電子データ化を進める。

- ・耐震化を推進する。（小山中学校校舎、北郷中学校体育館、須走小学校体育館）

(3) 青少年を育む活動及び家庭教育の推進

「意味ある人」を育むには、家庭が基本的な生活習慣や自立心、人に対する思いやり、善悪を判断する力等を培う場として、重要な役割を担っています。

次代を担う青少年の健全育成を、関係機関・団体をはじめ、家庭・学校・地域などと連携して進めます。

青少年を健やかに育む

- ・児童館活動の充実
- ・子ども会活動の援助
- ・ふるさと学級の実施
- ・青年団活動への援助
- ・青少年活動指導者リーダーの育成
- ・青少年と親とのふれあい事業の実施
- ・成人式の実施
- ・通学合宿の実施

（通学合宿：子どもたちが学校や家庭を離れた環境で仲間と協力しながら、自分たちの力で生活体験をすることにより、日常生活に必要な生活能力を習得するとともに、お互いの立場を理解し協力し合う心を育むことを目的としています。）

家庭教育の充実

- ・家庭教育学級の実施
- ・家庭教育に関する情報の提供
- ・家庭教育指導者の養成
- ・家庭教育手帳の配付

青少年を取り巻く環境の整備

- ・青少年補導委員活動の実施
- ・有害図書等の排除
- ・教育講演会の実施

相談事業の推進

- ・教育相談の実施

育英制度の推進

- ・育英奨学金の貸与

(4) 豊かな人生を創出する社会教育の充実

「意味ある人」づくりは、「一人ひとりが大切な人間である」という自己肯定感を持ち、最終的には魅力ある芸術・文化を創造し発信する豊かな感性を持った人づくりが求められます。

家庭教育への支援、社会教育団体の育成、生涯学習の充実に努めます。

感性を磨くことができる豊かな体験活動に努めます。

ICT社会の進展に伴い、町民へのパソコンやインターネット活用講習会を開催し、学習機会の充実を図ります。

学習機会の提供と充実

- ・町民の生涯学習を充実する各種講座、教室の開催
- ・パソコン、シルバークレイ、ステンドグラス、陶芸、絵画、茶道教室、町民講座、

ふるさと発見講座、生涯学習講演会

社会教育団体への助成

- ・各種社会教育団体への助成金の交付

人材の育成と団体の自立支援

- ・ボランティア活動の場を提供し、実践的な人材育成を図る。
- ・団体による自主事業を支援し、団体の自立を推進

(5) 健康で明るい人生を支えるスポーツの振興

「意味ある人」づくりには、基本となる健やかな心身を育むスポーツや健康づくりが不可欠です。スポーツは人の身体的・基本的な欲求にこたえる世界共通の文化であり魅力あるスポーツ文化づくりが求められています。

スポーツ団体の育成、スポーツ指導者の養成に努め、各種スポーツ大会やスポーツの振興を図り、町民の生き甲斐づくり、地域づくりを進めます。

また、県市町村対抗駅伝競走大会に長期的展望に立って、取り組みます。

各種スポーツ大会の開催及び参加

ジュニアバドミントン大会、レクリエーションスポーツ祭、ファミリーバドミントン大会、市町対抗駅伝等

関係団体主催各種スポーツ大会への協力

陸上記録会、パークゴルフ大会、町内一周駅伝大会、町民スポーツ祭、バドミントン教室等

各種スポーツ教室の開催

一輪車教室、ラッコ教室、アクションキッズ、ママとベビーのハッピーストレッチ、脳トレ教室、ファミリーバドミントン教室、トレーニング室利用講習会、健康教室等

スポーツ指導者の養成

- ・体育指導委員活動の推進
- ・少年スポーツ指導者の育成講習会

スポーツ施設の充実と開放

- ・学校体育施設の開放
- ・総合体育施設の開放

各種スポーツ団体の育成と助成

- ・体育協会への助成
- ・地区体育スポーツ振興会への助成
- ・国体等出場者への助成

(6) 地域に根ざした文化の継承と創造

「意味ある人」づくりは、豊かな感性を持った人づくりのため、日本古来の伝統や文化を学び継承していくことも大切なことです。

文化財の保護と活用の推進に努めます。

感性を磨き、豊かな心を育て、思考力や表現力をはぐくむ上で大切な読書活動を促進するため、図書館の効果的利用に努めます。

文化活動の推進

- ・自主文化事業の実施
- ・町民文化祭の実施

- ・ 文芸誌の発刊
- ・ 文化団体育成のための助成
- ・ 文化団体活動の支援
- 文化財の保護
- ・ 文化財カードのまとめ
- ・ 文化財の活用普及
- 図書館活動の充実
- ・ 図書館ボランティアによる読書活動の実施
- ・ 児童文学講座等の実施（教養講座、文学講座、児童講演会、おはなしの会、子ども読書の日等）
- ・ 夜間延長開館の実施
- ・ 町史の頒布、資料の管理
- ・ 移動図書館の拡大
- ・ 蔵書のウェブ公開による利用者利便性向上の検討
- ・ ブックスタートの実施
- 生涯学習社会の指導者づくり・施設の活用の推進
- ・ 学校施設・設備の活用
- ・ 生涯学習指導者のボランティアによる各種教室の開催
- ・ 生涯学習センター施設等利用増進

(7) 「明日の社会」をつくる教育の推進

「意味ある人」づくりは、「社会のあり方」に対して責任を負うという意識を持った人づくりが求められます。

そこで、現代社会が直面している課題に関する学習を、家庭・社会・学校において推進します。

明るく豊かな共生社会の形成を目指す

- ・ ボランティア活動の推進
- ・ 男女共同参画社会づくりへの支援
- ・ 放課後子ども教室の実施

あいさつを交わす町の推進

- ・ あいさつ運動の推進

異文化との交流と自然との共生の実現

- ・ 国際理解の推進
- ・ 環境教育の推進

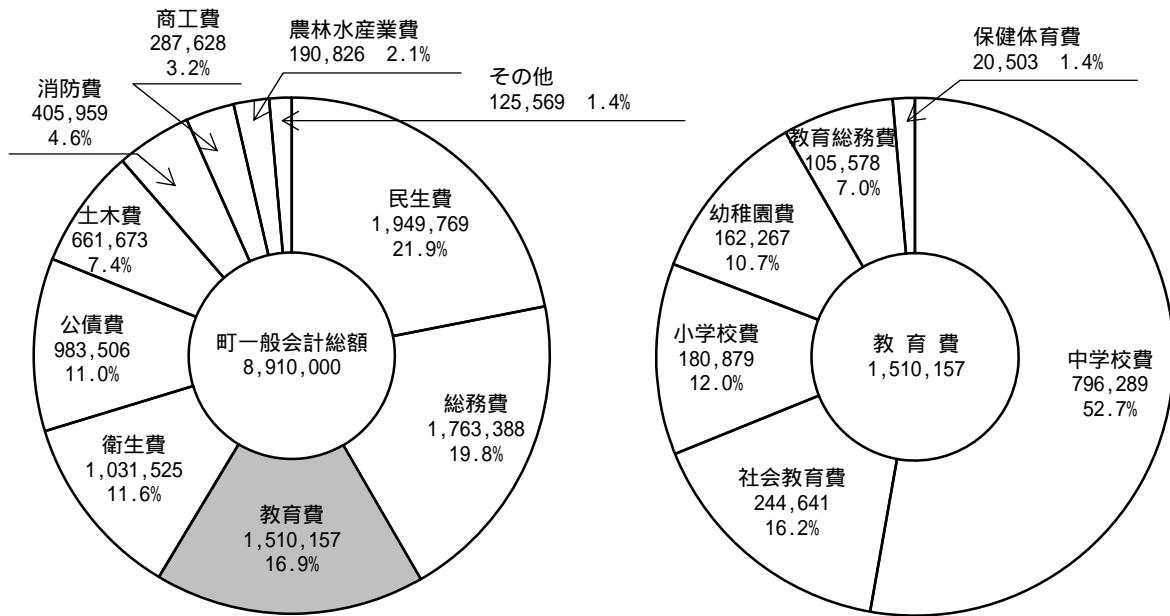
民間活力活用の検討

- ・ 体育施設の指定管理者への移行
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの支援
- 教育委員会の点検・評価の実施

教育費予算

平成22年度教育費予算(当初予算)は、15億1,015万7千円で、前年度に比べ2億2,271万7千円の増額(前年度比117.3%)となり、町一般会計予算89億1千万円の16.9%(前年度13.7%)となっている。主な増額の要因は、小山中学校の改築事業によるものである。

1. 一般会計歳出予算と教育費予算(単位:千円)



2. 教育費予算の推移(当初予算額)

(単位:千円)

年 度	町一般会計予算総額	教育費総額	町予算に対する割合
平成7年度	9,011,000	1,255,345	13.9%
平成12年度	8,088,000	1,104,661	13.7%
平成13年度	8,372,000	1,239,127	14.8%
平成14年度	8,760,000	976,372	11.1%
平成15年度	8,120,000	969,023	11.9%
平成16年度	8,950,000	1,397,389	15.6%
平成17年度	8,445,000	1,854,690	22.0%
平成18年度	7,890,000	1,153,567	14.6%
平成19年度	8,280,000	1,269,143	15.3%
平成20年度	8,795,000	871,882	9.9%
平成21年度	9,416,000	1,287,440	13.7%
平成22年度	8,910,000	1,510,157	16.9%

3. 平成22年度教育費予算の内訳

(単位：千円)

	22年度 予 算	21年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
9. 教育費	1,510,157	1,287,440	222,717	290,769	294,500	163,026	761,862
1. 教育総務費	105,578	96,050	9,528	7,075			98,503
1. 教育委員会費	1,595	1,732	137				1,595
2. 事務局費	103,983	94,318	9,665	7,075			96,908
2. 小学校費	180,879	252,717	71,838	3,060	0	2,696	175,123
1. 学校管理費	168,459	240,483	72,024	2,334		2,696	163,429
2. 教育振興費	12,420	12,234	186	726			11,694
3. 中学校費	796,289	450,690	345,599	273,313	294,500	103,846	124,630
1. 学校管理費	188,737	130,547	58,190	30,660		53,846	104,231
2. 教育振興費	13,720	15,400	1,040	783			12,937
3. 小山中学校改築事業費	593,832	304,743	289,089	241,870	294,500	50,000	7,462
4. 幼稚園費	162,267	203,066	40,799	340	0	25,329	136,598
1. 幼稚園費	162,267	203,066	40,799	340		25,329	136,598
5. 社会教育費	244,641	264,398	19,757	6,981		25,455	212,205
1. 社会教育総務費	78,426	85,970	7,544	6,617		30	71,779
2. 生涯学習推進費	3,613	3,956	343				3,613
3. 社会教育施設費	4,109	4,955	846	364		500	3,245
4. 図書館費	21,610	21,421	189			56	21,554
5. 生涯学習センター管理費	114,766	117,556	2,790			9,151	105,615
6. 自主文化事業費	22,117	30,540	8,423			15,718	6,399
6. 保健体育費	20,503	20,519	16			5,700	14,803
1. 保健体育総務費	8,208	8,641	433			780	7,428
2. 体育施設費	12,295	11,878	417			4,920	7,375

人口1人当たりの教育費

(単位：円・人)

年度 区分	19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
教育費	1,224,810,279	890,895,732	1,345,054,490	1,510,157,000
人口(年度末)	20,677	20,738	20,622	(年度当初) 20,622
1人当たりの教育費	59,235	42,960	65,224	73,230

児童1人当たりの教育費

(単位：円・人)

年度 区分	19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
小学校費	159,072,403	170,625,093	322,644,628	180,879,000
児童数(5月1日現在)	1,253	1,232	1,223	1,163
1人当たりの小学校費	126,953	138,494	263,814	155,528

生徒1人当たりの教育費

(単位：円・人)

年度 区分	19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
中学校費	156,394,812	196,830,385	435,777,564	796,289,000
生徒数(5月1日現在)	633	608	611	590
1人当たりの中学校費	247,069	323,734	713,220	1,349,642

園児1人当たりの教育費

(単位：円・人)

年度 区分	19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
幼稚園費	144,949,235	151,184,644	199,317,541	162,267,000
園児数(5月1日現在)	317	301	311	305
1人当たりの幼稚園費	457,253	502,275	640,892	532,023

学校教育

1. 学校教育関係主要事業

(1) 研究、研修の推進

- ・ 校長及び教頭研修
学校経営、教員研修、生徒指導他当面の問題等
- ・ 生徒指導主任研修の実施と生徒指導の充実
「いじめ」の防止、不登校児童生徒への対応、問題行動への対応、生徒理解等
- ・ 町指定研究校
成美小学校
須走小学校
- ・ 新任教職員研修会実施

(2) 校内研修の推進

- ・ 自己の課題に沿って研修、研究を進める。
- ・ 教育協会研究発表会に参加し、意欲的に日々の指導実践に活かす。

各校の研修主題(テーマ)

- ・ 成美小学校 「自らをひらき、かかわりあって学ぶ子」
～楽しくはなそう～
- ・ 明倫小学校 「自分の気持ちや考えを表現できる子をめざして」
- ・ 足柄小学校 「思いや考えをつなげて学び合える子の育成」
～みんなで伝え、考え、解決する子～
- ・ 北郷小学校 「自らが感じ、考えたことを表現し合う子の育成」
- ・ 須走小学校 「課題に向かって自分の考えを持ち、友だちと学び合う子」
- ・ 小山中学校 「生徒の表現力を磨き、言語活動の充実を図る教育活動の研究」
～生徒の言語活動の充実を図り、認め合い、かかわり合う力を育てる～
- ・ 北郷中学校 「かかわりの中で課題を追究し、伝え合い響き合う生徒の育成」
～活動的で共同的な学習活動を通して～
- ・ 須走中学校 「関わり合いの中で自分を表現できる生徒の育成」
～自ら求めて～

(3) 幼稚園研修の推進

小幼研研修テーマ

「生きる力を育む保育の創造」

各園の研修テーマ

・駿河小山幼稚園

友達といっしょに遊べる子をめざして

～共に育ち合う園・家庭・地域の連携をとおして～

・足柄幼稚園

自分のおかれた環境の中で安心して動き出せる子を目指して

・北郷幼稚園

健康な心や体を育む保育を目指して

・須走幼稚園

幼児理解を基盤にした保育の工夫

(4) 教職員教育論文の奨励

- ・町教育委員会 平成23年1月7日提出期限

(5) 健康教育

- ・学校保健安全委員会の活動と健康教育の充実
- ・校内体力テストの実施
- ・御殿場小山陸上競技記録会への参加
- ・「のびゆく子ども」の編集刊行

(6) 思いやり豊かな心を育てる

- ・三世代主張大会 町老人クラブ連合会主催支援 平成22年10月20日(水)
- ・サマーショートボランティア活動計画
静岡県ボランティア協会主催・町社会福祉協議会共催 夏休み期間中
- ・老人福祉施設等訪問交流
- ・地域美化活動への参加

(7) 適正な就学指導と理解啓発

町就学指導委員会: 定例会を年2回実施のほか、随時相談活動を進める。

(8) 小学校・中学校・幼稚園の教育環境の整備充実

- ・小山中学校耐震改修事業
- ・北郷中学校体育館改築事業
- ・各小・中学校・幼稚園の施設および備品等の整備

2. 小・中学校、幼稚園一覧表

小学校

(平成22年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電話 FAX	校長名 教頭名	学級数	児童数			学年別児童数					
						男	女	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
成美小学校	明7.3	藤曲150	76-0063 76-0876	室伏 義久 藤田 貴久	6	101	81	182	29	31	26	20	37	39
明倫小学校	明43.11	菅沼627	76-0064 76-0051	中山 正之 岩澤 千代美	(2) 8	(4) 97	(2) 71	(6) 168	(1) 31		(2) 29	(3) 36		29
足柄小学校	明42.12	竹之下2411-1	76-0596 76-0327	芹澤 文夫 橋本 玲子	6	50	69	119	19	16	15	24	23	22
北郷小学校	明14.10	用沢604-1	78-0520 78-0500	増島 清 長田 武雄	(1) 11	(1) 133	(1) 181	(2) 314				(1) 40		(1) 58
須走小学校	明7.5	須走70-18	75-2730 75-2729	阿部 克彦 青木 元広	(1) 13	(1) 196	(1) 184	(2) 380			(1) 70			(1) 61
合 計					(4) 44	(6) 577	(4) 586	(10) 1,163	(1) 190		(3) 209	(4) 184		(2) 211

()は特別支援学級・児童数、内数

中学校

(平成22年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電話 FAX	校長名 教頭名	学級数	生徒数			学年別生徒数			
						男	女	計	1年	2年	3年	
小山中学校	昭22.4	藤曲142	76-0154 76-0308	山口 和男 鈴木 陽一	(2) 11	(2) 139	(2) 141	(4) 280	(3) 103	(1) 93		84
北郷中学校	昭22.4	用沢355	78-0514 78-0585	鳥沢 孝之 勝亦 重夫	(1) 7	(1) 93	(2) 90	(3) 183		(2) 64	(1) 67	
須走中学校	昭22.4	須走99-7	75-2004 75-2088	山下 清春 大胡田かおり	(1) 5	(1) 63	(2) 64	(3) 127	(2) 41	(1) 41		45
合 計					(4) 23	(4) 295	(6) 295	(10) 590	(5) 196	(4) 198	(1) 196	

()は特別支援学級・児童数、内数

幼稚園

(平成22年5月1日現在)

園名	創立年月	所在地	電話 兼 FAX	園長名	学級数	園児数			年齢別園児数		
						男	女	計	3歳児	4歳児	5歳児
駿河小山幼稚園	平22.4	小山289-1	76-0479	藤曲 真弓	3	29	22	51	19	12	20
足柄幼稚園	昭35.4	竹之下2430	76-0584	鈴木 あけみ	2	19	11	30	12	11	7
北郷幼稚園	昭37.4	用沢207-1	78-0504	吉川 尚子	3	37	35	72	22	26	24
須走幼稚園	昭31.4	須走83	75-2710	田代 桂子	7	90	62	152	47	59	46
合 計					15	175	130	305	100	108	97

3. 小山町立学校通学区一覽

通常学級の通学区

学校名	通 学 区 域
成美小学校	小山1区～4区、生土区、音湊区、中島区、柳島区、湯船区、藤曲区、落合区
明倫小学校	南藤曲区、茅沼区、菅沼区、坂下区、谷戸区、大脇区、原向区、所領区
足柄小学校	向方区、宿区、新柴区、桑木区
北郷小学校	用沢区、棚頭区、大御神区、中日向区、上野区、阿多野区、吉久保区、下古城区、大胡田区、上古城区、一色区
須走小学校	上本町区、下本町区、下原区、東原区、緑ヶ丘区、雲雀ヶ丘区
小山中学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区
北郷中学校	北郷小学校の通常学級の通学区
須走中学校	須走小学校の通常学級の通学区

特別支援学級(知的障害)の通学区

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区
北郷小学校	北郷小学校の通常学級の通学区
須走小学校	須走小学校の通常学級の通学区
小山中学校	小山中学校の通常学級の通学区
北郷中学校	北郷中学校の通常学級の通学区
須走中学校	須走中学校の通常学級の通学区

特別支援学級(自閉症・情緒障害)の通学区

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校、足柄小学校、北郷小学校及び須走小学校の通常学級の通学区
小山中学校	小山中学校、北郷中学校及び須走中学校の通常学級の通学区

4. 学校の位置と標高

学 校 名	緯 度	経 度	標 高
成 美 小 学 校	35° 21' 36"	138° 59' 16"	3 0 0 m
明 倫 小 学 校	35° 21' 10"	138° 58' 41"	3 2 1 m
足 柄 小 学 校	35° 19' 46"	138° 59' 09"	3 4 2 m
北 郷 小 学 校	35° 20' 28"	138° 56' 49"	4 4 6 m
須 走 小 学 校	35° 21' 39"	138° 52' 21"	7 8 2 m
小 山 中 学 校	35° 21' 29"	138° 59' 23"	2 8 5 m
北 郷 中 学 校	35° 20' 39"	138° 56' 57"	4 4 5 m
須 走 中 学 校	35° 21' 44"	138° 52' 18"	7 8 9 m

5. 小学校、中学校、幼稚園施設の状況

小学校

学校名	校舎等の現況					合計	校地の現況			プール	プール 完成年月
	校舎		屋内運動場				運動場	校地敷地 その他	合計		
	非木造	計	木造	非木造	計						
成美小学校	4,166 <S59.7完成>	4,166		(1,126)	(1,126)	4,166 (5,292)	8,755	11,328	20,083	50×15 *22.5×4.5	S34.9 S51.3
明倫小学校	3,656 <S60.7完成>	3,656		(1,123)	(1,123)	3,656 (4,779)	8,207	7,407	15,614	25×13 *13×5	H10.6
足柄小学校	2,192 <S61.3完成>	2,192	35	474	509	2,701	4,324	12,349	16,673	(25×12) (*60㎡)	S47.8
北郷小学校	4,772 <S54.3完成> <H1.3完成>	4,772		(1,126)	(1,126)	4,772 (5,898)	14,901	8,852	23,753	(25×12) (*10×10)	S48.8
須走小学校	4,347 <S50.12完成> <S62.10完成>	4,347		(1,009)	(1,009)	4,347 (5,356)	12,375	9,276	21,651	25×17 *25×5.2	S63.7

()は地区児童屋内体育施設

()は町民プール

*は低学年用

中学校

学校名	校舎等の現況						格 技 棟 等	合計	校地の現況		
	校舎		屋内運動場			運動場			校地敷地 その他	合計	
	非木造	計	木造	非木造	計						
小山中学校	北校舎 2,180 <H23解体予定> 中校舎 3,480 <H22.11完成予定> 南校舎 1,755 <S49.3完成>	7,415		(1,479)	(1,479)	7,415 (8,894)	13,633	11,139	24,772		
北郷中学校	3,574 <H8.12完成>	3,574		1,497	1,497	312	5,383	16,340	24,553	40,893	
須走中学校	校舎 3,995 <校舎H17.10完成> 渡廊下 145	4,140		1,667	1,667	279	1,946	2,919	21,590	24,509	

()は地区児童屋内体育施設

幼稚園

園名	園舎等の現況					合計	運動場	園地敷地 その他	合計
	園舎		屋内運動場						
	非木造	計	木造	非木造	計				
駿河小山幼稚園	545 <H22.3増築完成>	545				545	1,212	1,698	2,910
足柄幼稚園	553 <S62.3完成>	553				553	928	828	1,756
北郷幼稚園	912 <H6.9完成>	912				912	2,536	1,743	4,279
須走幼稚園	1,107 <H13.7完成>	1,107				1,107	2,449	3,446	5,895

駿河幼稚園 H22.3用途廃止

6. 小学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	成美小学校		明倫小学校		足柄小学校		北郷小学校		須走小学校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
昭和50年	17	574	(1)	(4)	6	110	12	392	17	566	65	2,011
昭和60年	14	513	(1)	(4)	6	157	16	577	13	460	61	2,027
平成7年	12	385	(1)	(5)	6	128	13	433	14	418	56	1,625
平成12年	11	289	(1)	(5)	6	125	12	419	12	413	48	1,433
平成17年	10	261	(1)	(2)	6	130	12	362	(1)	(3)	(2)	(5)
平成18年	10	261	(1)	(2)	6	137	12	345	(1)	(2)	(2)	(4)
平成19年	7	223	(2)	(2)	6	141	11	333	(1)	(1)	(3)	(3)
平成20年	7	209	(2)	(4)	6	137	11	336	(1)	(3)	(3)	(7)
平成21年	7	195	(2)	(6)	6	128	(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	(10)
平成22年	6	182	(2)	(6)	6	119	(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	(10)

()は特別支援学級・児童数、内数

7. 中学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山中学校		北郷中学校		須走中学校		合 計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
昭和50年	(1)	(11)	6	193	6	201	(1)	(11)
	16	585					28	979
昭和60年	(1)	(6)	8	296	6	173	(1)	(6)
	15	571					29	1,040
平成7年	(1)	(2)	8	252	3	114	(1)	(2)
	13	447					24	813
平成12年	(1)	(2)	6	197	5	145	(1)	(2)
	13	413					24	755
平成17年	(1)	(1)	7	223	(1)	(2)	(2)	(3)
	10	286			6	135	23	644
平成18年	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	(3)
	9	280	7	215	7	145	23	640
平成19年	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(4)
	11	292	7	196	7	145	25	633
平成20年	(1)	(1)	6	181	(1)	(2)	(2)	(3)
	10	284			7	143	23	608
平成21年	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(3)	(4)
	10	296	7	181	6	134	23	611
平成22年	(2)	(4)	(1)	(3)	(1)	(3)	(4)	(10)
	11	280	7	183	5	127	23	590

()は特別支援学級・児童数、内数

8. 幼稚園在園者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山幼稚園			駿河幼稚園			足柄幼稚園			北郷幼稚園			須走幼稚園			合 計								
	4 歳児	5 歳児	計	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計					
昭和50年	33	35	68	/	45	35	80	/	32	23	55	/	56	47	103	/	81	55	136	/	247	195	442	
昭和60年	33	33	66	/	15	16	31	/	17	20	37	/	32	45	77	/	56	47	103	/	153	161	314	
平成7年	25	27	52	/	20	19	39	/	12	18	30	/	40	44	84	/	68	64	132	/	40	169	161	370
平成12年	25	41	66	/	17	16	33	/	19	17	36	/	45	40	85	/	56	49	105	/	62	156	166	384
平成17年	13	17	30	/	15	13	28	/	10	14	24	/	30	18	48	/	58	56	114	/	113	114	227	
平成18年	12	13	25	/	16	12	28	/	12	11	23	/	25	30	55	/	55	57	112	/	108	122	230	
平成19年	16	13	29	/	9	9	18	/	11	13	24	/	19	26	45	/	41	56	97	/	80	120	200	
平成20年	9	16	25	/	11	9	20	/	8	12	20	/	23	18	41	/	49	51	100	/	91	99	190	
平成21年	8	10	18	/	10	11	21	/	8	7	15	/	28	24	52	/	61	49	110	/	107	99	206	
平成22年				駿河小山幼稚園																				
				19	12	31	12	11	23	22	26	48	47	59	106	100	108	208						

平成22年4月1日：小山幼稚園と駿河幼稚園の統合による。

9. 教職員の構成

平成22年5月1日現在(単位：人)

職名	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校 長	5		5	3		3	8		8
教 頭	3	2	5	2	1	3	5	3	8
教 諭	29	(3)	32	26	13	39	55	39	94
養護教諭		5	5		(1)	(1)		(1)	(1)
講 師		4	4		2	2		6	6
栄養職員		2	2					2	2
事務職員	1	4	5	1	2	3	2	6	8
非常勤講師		7	7	1	5	6	1	12	13
合 計	38	(3)	41	33	(1)	34	71	(4)	75
町費職員		5	5		1	1		6	6
町非常勤講師		10	10		3	3		13	13
町臨時職員		25	25		12	12		37	37

()は産休・育休職員、内数

10. 進学と就職

中学校(平成21年度卒業生)

	小山中学校				北郷中学校				須走中学校				合 計			
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計
7年度	141			141	89	1		90	35			35	265	1		266
	100.0			100.0	98.9	1.1		100.0	100.0			100.0	99.6	0.4		100.0
12年度	150		1	151	70			70	34			34	254		1	255
	99.3		0.7	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	99.6		0.4	100.0
13年度	124	2	1	127	74	1	1	76	49	1		50	247	4	2	253
	97.6	1.6	0.8	100.0	97.4	1.3	1.3	100.0	98.0	2.0		100.0	97.6	1.6	0.8	100.0
14年度	129		2	131	52		1	53	41	1	1	43	222	1	4	227
	98.5		1.5	100.0	98.1		1.9	100.0	95.4	2.3	2.3	100.0	97.8	0.4	1.8	100.0
15年度	98		2	100	75	1	1	77	45	2		47	218	3	3	224
	98.0		2.0	100.0	97.4	1.3	1.3	100.0	95.7	4.3		100.0	97.3	1.3	1.3	100.0
16年度	109	1	2	112	65	2		67	47		2	49	221	3	4	228
	97.3	0.9	1.8	100.0	97.0	3.0		100.0	95.9		4.1	100.0	96.9	1.3	1.8	100.0
17年度	83	1		84	69	2		71	37			37	189	3		192
	98.8	1.2		100.0	97.2	2.8		100.0	100.0			100.0	98.4	1.6		100.0
18年度	104	2	2	108	71			71	45		1	46	220	2	3	225
	96.2	1.9	1.9	100.0	100.0			100.0	97.8		2.2	100.0	97.8	0.9	1.3	100.0
19年度	90	3		93	79	2		81	45			45	214	5		219
	96.8	3.2		100.0	97.5	2.5		100.0	100.0			100.0	97.7	2.3		100.0
20年度	81	1	1	83	62	2		64	46			46	189	3	1	193
	97.6	1.2	1.2	100.0	96.9	3.1		100.0	100.0			100.0	97.9	1.6	0.5	100.0
21年度	117	1	1	119	50			50	49			49	216	1	1	218
	98.4	0.8	0.8	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	99.1	0.5	0.5	100.0

11. 今後5か年の就学児童推定表

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成美小学校	182	170	163	175	178
明倫小学校	168	163	170	165	164
足柄小学校	119	113	108	103	106
北郷小学校	314	301	295	311	293
須走小学校	380	384	403	415	417
合 計	1,163	1,131	1,139	1,169	1,158

「平成23年度以降の児童数等調査より」

12. 就学奨励援助

教育の機会均等を確保するため、要保護及び準要保護者に対して、就学援助関係法令に基づいて、教育委員会が援助費を支援しています。さらに、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減するとともに、特別支援教育の振興のために奨励費を支給しています。

平成22年度要保護及び準要保護児童・生徒数

平成22年5月1日現在

学 校 名	児童生徒総数	要保護	準要保護	計	援助率
成 美 小 学 校	182 人	1 人	8 人	9 人	4.94 %
明 倫 小 学 校	168		8	8	4.76
足 柄 小 学 校	119		4	4	3.36
北 郷 小 学 校	314		8	8	2.54
須 走 小 学 校	380	2	4	6	1.57
小 学 校 計	1,163	3	32	35	3.00
小 山 中 学 校	280	1	19	20	7.14
北 郷 中 学 校	183		7	7	3.82
須 走 中 学 校	127	2	3	5	3.93
中 学 校 計	590	3	29	32	5.42

平成21年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費実績

(単位：円)

校 種 別		小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学 用 品 費 通 学 用 品 費 校 外 活 動 費 (宿 泊 を 伴 わ ない も の)	第 1 学 年	5	52,667	11	235,408
	そ の 他 の 学 年	33	436,290	31	735,106
	計	38	488,957	42	970,514
校 外 活 動 費 (宿 泊 を 伴 う も の)		6	5,164	18	70,010
新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 費 等		4	79,600	10	229,000
修 学 旅 行 費		9	195,856	20	1,127,862
医 療 費			0		0
学 校 給 食 費		38	1,408,660	42	1,940,764
合 計			2,178,237		4,338,150

平成22年度特別支援学級在籍者数

平成22年5月1日現在

学 校 名	在籍者
明 倫 小 学 校	6
北 郷 小 学 校	2
須 走 小 学 校	2
小 学 校 計	10
小 山 中 学 校	4
北 郷 中 学 校	3
須 走 中 学 校	3
中 学 校 計	10

平成21年度特別支援教育就学奨励費実績

(単位：円)

区 分	校 種 別	小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学 校 給 食 費		10	192,318	3	65,886
交 通 費	通 学 費 (自家用車)	2	83,600		
	交 流 学 習 費	10	11,540	3	7,790
修 学 旅 行 費		3	30,900	1	27,850
校 外 活 動 費	宿 泊 な し	10	7,550	3	2,930
	宿 泊 あ り			1	2,920
学 用 品 購 入 費		10	51,800	3	28,940
通 学 用 品 購 入 費・ 新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 費 等	新 入 学 年			1	11,450
	そ の 他 学 年	10	10,060	2	1,775
合 計			387,768		149,541

13. 育英奨学資金

教育委員会では、昭和38年度に「小山町育英奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例」を制定し、将来の有望な人材を育成することを目的として、優良な生徒で経済的理由によって修学が困難な学生に毎年、学資を貸与しています。

現在の貸与金額は、大学生が月額30,000円、高校生が12,000円で卒業後1年間据え置き、2年目から元金のみを3年から5年で返還していただいています。

年度	年度当初育英奨学資金原資	新規採用者		貸付者総数		貸与金額 (決算)	返還状況(決算)		年度末貸与金額総額
		高校	大学	高校	大学		人数	金額	
2	10,356,217				7	2,100,000	2	270,000	5,629,400
7	14,098,512		3	1	6	2,280,000	5	1,045,000	7,605,000
8	15,215,433		2	1	7	2,640,000	5	1,045,000	9,200,000
9	17,235,776		4		11	3,960,000	3	735,000	12,425,000
10	18,171,504		5	1	17	4,680,000	4	1,047,000	16,058,000
11	18,178,870		3	1	19	3,600,000	10	6,311,000	13,347,000
12	18,178,870		1	1	19	3,240,000	9	1,923,000	14,664,000
13	21,189,949		2	1	20	2,520,000	9	1,920,000	15,264,000
14	24,296,608		2		19	2,160,000	13	3,048,000	14,376,000
15	26,296,937	1		1	18	1,224,000	15	4,032,000	11,568,000
16	27,017,043		1	1	16	1,224,000	12	3,000,000	9,792,000
17	26,797,196		3	1	15	2,160,000	10	2,286,000	9,666,000
18	27,297,359		1	1	16	1,800,000	10	2,284,000	9,182,000
19	27,407,409		3	1	16	2,880,000	9	2,270,000	9,792,000
20	27,454,357		1		14	2,880,000	5	1,296,000	11,376,000
21	27,501,305		4		16	3,240,000	4	1,152,000	13,464,000
22	27,548,253	1	3	1	18	3,744,000	7	2,300,000	14,908,000

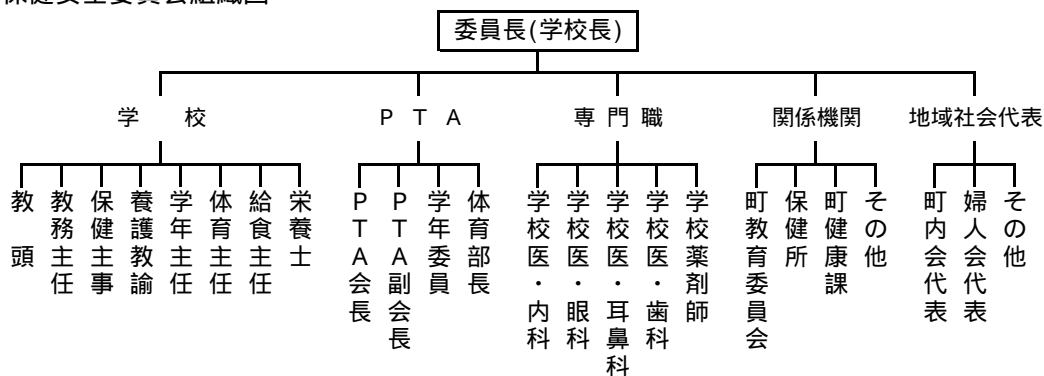
14. 学校保健

こどもたちの健康保持と増進のため、内科検診をはじめとした各種の健康診断を実施しています。また、各学校ごとに学校保健安全委員会を組織し、保健計画に基づいた安全対策と健康増進を図っています。

町の保健事業計画

- (1) 定期健康診断
- (2) 尿検査（対象：小・中・幼全員）
- (3) 心音心電図(心臓)検診（対象：小1、中1）
- (4) 脊柱側弯症検診
- (5) 結核健康診断
- (6) ぎょう虫卵検査（対象：小・幼全員）
- (7) 就学時健康診断
- (8) 就園時健康診断
- (9) 教職員健康診断

学校保健安全委員会組織図



校医・校歯科医・校薬剤師一覧（平成22年度）

	内 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	薬 剤 師
成美小学校	岩田祥吾	六鹿秀夫 (富士小山病院)	荒井邦彦	小野篤之	長須賀恒雄
明倫小学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	荒井邦彦	大木長生	長須賀恒雄
足柄小学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	荒井邦彦	小野義晃	芹澤一男
北郷小学校	友成正明	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間隆	鈴木徳夫	牧野 潔
須走小学校	田内守之	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間隆	斉藤康裕	中澤 ゆかり
小山中学校	岩田祥吾	六鹿秀夫 (富士小山病院)	荒井邦彦	小野篤之	芹澤一男
北郷中学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間隆	鈴木徳夫	牧野 潔
須走中学校	安田敏男	六鹿秀夫 (富士小山病院)	荒井邦彦	斉藤康裕	中澤 ゆかり
駿河小山幼稚園	岩田祥吾	/	/	大木長生	長須賀恒雄
足柄幼稚園	中川靖夫			小野義晃	芹澤一男
北郷幼稚園	友成正明			鈴木徳夫	牧野 潔
須走幼稚園	田内守之			斉藤康裕	中澤 ゆかり

児童・生徒の体格

(平成22年度)

区分		小学校						中学校			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
男	身長 cm	町	116.2	122.6	127.1	132.8	138.4	144.6	151.4	159.3	163.5
		県	116.2	122.1	127.8	133.2	138.3	144.6	151.7	159.0	164.7
		全国	116.7	122.6	128.3	133.6	138.9	145.1	152.5	159.7	165.2
	体重 kg	町	21.0	23.5	27.2	30.3	34.5	39.9	43.5	49.1	53.5
		県	21.1	23.7	26.7	30.0	33.5	37.9	42.9	48.4	53.5
		全国	21.5	24.1	27.2	30.6	34.2	38.4	44.2	49.1	54.3
	座高 cm	町	64.1	67.6	69.8	72.3	74.9	77.6	80.7	85.0	87.8
		県	64.7	67.5	70.1	72.6	74.8	77.5	80.7	84.6	87.9
		全国	64.9	67.7	70.3	72.7	75.0	77.6	81.3	84.9	88.1
女	身長 cm	町	115.4	121.3	127.0	133.1	139.6	146.0	151.1	154.1	154.8
		県	115.4	121.3	127.0	132.9	140.0	146.5	151.5	154.5	156.3
		全国	115.8	121.7	127.5	133.5	140.3	146.9	151.9	154.9	156.7
	体重 kg	町	20.9	23.2	26.4	28.9	34.1	38.5	44.6	47.7	50.3
		県	20.7	23.3	26.1	29.5	33.4	38.4	43.6	47.0	50.0
		全国	21.0	23.5	26.5	30.0	34.1	39.0	43.8	47.3	50.2
	座高 cm	町	64.1	67.0	69.7	72.3	75.6	79.0	81.5	83.4	84.8
		県	64.3	67.2	69.8	72.5	76.0	79.2	81.8	83.8	84.8
		全国	64.5	67.3	70.0	72.7	75.9	79.3	82.1	83.7	84.8

県平均及び全国平均は、平成21年度文部科学省学校保健統計調査値。

は全国平均を上回る。

は県平均を上回る。

は全国平均・県平均を上回る。

15. 日本スポーツ振興センター

月別災害発生件数

(平成21年度)

区分	在籍数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	被災率
成美小	195	1		1	3	1		1	3	1		1	1	13	6.7%
明倫小	174			1	1	2		1	4		1			10	5.7%
足柄小	128				1	1	1	2	1					6	4.7%
北郷小	327								1			1		2	0.6%
須走小	399						7						8	15	3.8%
計	1,223	1	0	2	5	4	8	4	9	1	1	2	9	46	3.8%
小山中	296	3		1	1	5			5		7	1	2	25	8.4%
北郷中	181	1												1	0.6%
須走中	134				3				1				1	5	3.7%
計	611	4	0	1	4	5	0	0	6	0	7	1	3	31	5.1%
幼稚園	311	1				1	1							3	1.0%
合計	2,145	6	0	3	9	10	9	4	15	1	8	3	12	80	3.7%

学年別災害発生件数

(平成21年度)

校種	学年別	在籍数	件数	発生率
小学校	1	192	4	2.1%
	2	207	2	1.0%
	3	200	8	4.0%
	4	202	9	4.5%
	5	220	14	6.4%
	6	202	9	4.5%
中学校	1	197	11	5.6%
	2	198	13	6.6%
	3	216	7	3.2%
幼稚園		311	3	1.0%

負傷別・疾病件数

(平成21年度)

種 類	小学校	中学校	幼稚園	合計
骨 折	14	6		20
捻 挫	6	7		13
脱 臼	3	1		4
挫傷・打撲	17	15	2	34
挫 創	2	2	1	5
切 創	1			1
刺 創				0
割 創				0
裂 創	1			1
擦 過 創				0
熱傷・火傷				0
歯牙破折	1			1
そ の 他				0
負 傷	45	31	3	79
疾 病	1			1
計	46	31	3	80

16. 学校給食

経 過

小山町の学校給食は、昭和21年に粉乳給食が開始された。さらに子供たちの体位向上を求めて完全給食の実施を望む声があり、昭和30年11月に須走小学校、昭和37年4月成美小学校・明倫小学校・足柄小学校に、同年5月北郷小学校にと町内5つの小学校で、単独校方式の完全給食を開始した。

- ・昭和59年9月:成美小に当町初のドライシステム方式を採用。
- ・昭和60年9月:明倫小にドライシステム方式を採用。
- ・昭和61年10月:足柄小ドライシステム方式を採用し食堂型の給食棟とする。

平成9年2月から北郷中学校で、平成9年4月から小山中学校で、食堂を備えた単独校方式による完全給食を開始した。

つづいて、須走中も平成10年4月から須走小・中学校共同の食堂を備えた給食施設での完全給食を開始した。

給 食 費

(平成22年5月1日現在)

区 分		小 学 校	中 学 校
給食費(1人1か月当たり)		3,800 円	4,600 円
給食費徴収回数(年間)		11 回	11 回
給食回数(年間)		183 回	181 回
単 価 (1 食 当 たり)		228円 41銭	279円 55銭
内 訳	主 食	32円 37銭	44円 10銭
	牛 乳	43円 23銭	43円 23銭
	副 食	152円 81銭	192円 22銭

給食数(1日当たり)

成美小学校	201食	小山中学校	310食
明倫小学校	192食	北郷中学校	208食
足柄小学校	137食	須走中学校	146食
北郷小学校	343食		
須走小学校	413食		
合 計	1,286食	合 計	664食

主食1食当たりの単価と年間予定回数

区 分	小 学 校		中 学 校	
米飯自校炊飯	22円 80銭	110回(週3回)	31円 35銭	109回(週3回)
パ ン	48円 57銭	62回	67円 04銭	61回
麵 類	36円 75銭	11回(月1回)	43円 16銭	11回(月1回)
合 計	183 回		181 回	

社会教育

社会教育委員

社会教育委員は「社会教育法」第15条に基づき教育委員会が委嘱している。

職務は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会から諮問された事項に対しての意見具申及びこれらの客観的判断をするための調査・研究などがある。

「小山町社会教育委員条例」では、定数を15人以内、任期を2年と定めている。

任期 平成24年3月31日

役 職	氏 名
委 員 長	高 橋 豊 宏
副 委 員 長	佐 藤 陽 子
委 員	室 伏 義 久
〃	鳥 沢 孝 之
〃	池 谷 浩 一
〃	近 藤 勝 正
〃	森 順
〃	磯 井 吉 孝
〃	高 橋 浩 志
〃	青 木 利 枝 子
〃	池 谷 み ゆ き
〃	臼 井 裕 子
〃	岩 田 忠 春
〃	眞 部 和 徳
〃	岩 田 悦 子

生涯学習

科学技術の進歩や情報化、国際化、高齢化社会になっている中で、一人ひとりが知識や技術を伸ばし、趣味、レクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある充実した人生を送るため、自発的意志に基づく生涯にわたっての学習が重視されている。

このため、町民の学習に対する支援を進めるとともに、生涯学習の観点から社会教育の推進を図っていく。

生涯学習推進委員会委員

任期 当然職在職中

区分	役職	氏名
委員長	副町長	田代信幸
副委員長	教育長	戸枝浩
〃	社会教育委員長	高橋豊宏
委員	社会教育委員	室伏羲久
〃	〃	鳥沢孝之
〃	〃	池谷浩一
〃	〃	近藤勝正
〃	〃	森順
〃	〃	磯井吉孝
〃	〃	高橋浩志
〃	〃	青木利枝子
〃	〃	池谷みゆき
〃	〃	臼井裕子
〃	〃	岩田忠春
〃	〃	岩田悦子
〃	〃	眞部和徳
〃	〃	佐藤陽子
〃	老人会連合代表	室伏弘行
〃	企画調整課長	後藤栄一
〃	総務課長	高橋忠幸
〃	福祉課長	田代順泰
〃	健康課長	羽佐田武
〃	生活環境課長	室伏博行
〃	商工観光課長	池谷廣美
〃	学校教育課長	小野学

生涯学習課施設関係

1. 総合文化会館



所在地 小山町阿多野130
敷地面積 27,213.24㎡
建物面積 5,627.35㎡
延床面積 7,835.48㎡
大ホール 996席 車椅子6席 母子11席
開設 平成4年2月
職員 12名(図書館含む)
電話番号 76-5700、5701、5722

総合文化会館は、平成4年に開館して以来、毎年多くの方々に利用していただいているが、更に内容の充実を図るなど、町民の生涯学習拠点としての施設づくりを進める。また、中央公民館等についても利用の増加を図る。

2. 総合体育館・野球場・多目的広場・弓道場・小山道場・パークゴルフ場
各体育施設の利用の増加を図るため、施設、備品等の充実をすすめるとともにPRの強化など、利用者の増加策を進める。
3. 「夢ひろば」の発行
生涯学習事業のPR、利用促進につなげていくために、毎月「夢ひろば」を広報おやまに掲載する。また、自主文化事業のPRを目的とした「夢ひろば特別号」を年1回発行する。
4. 施設利用の利便性の充実のための職員対応
利用者の利便性の充実のために次の対応を行う。
職員の勤務をローテーション化しており、利用者の利便を図るために町内巡回バスの運行や、窓口では施設利用申請を午後8時30分まで受付している。

生涯学習関係事業計画

生涯学習推進と啓発のため次の事業を行う。

- ・推進組織の充実とネットワークづくり
 - ・生涯学習の啓発
 - ・生涯学習情報提供
1. 啓発のための講演会開催
 - ・期 日 6月27日(日)
 - ・会 場 総合文化会館
 - ・講 師 貴乃花親方
 2. 情報提供パンフレットの各戸配布
 3. 情報提供チラシの各戸配布、ポスターの各区掲示

視聴覚教育

1. フィルム・ビデオテープの利用促進
東部社会教育振興協議会フィルムライブラリー保存の16ミリフィルム・ビデオ等の利用促進を図り、家庭教育に関する学習の教材とする。

成人教育

1. 家庭教育学級の開設奨励と指導

幼稚園、小学校、中学校PTA会員を対象に開設し、家庭教育の充実を図るとともに、児童の健全育成を進める。

- ・期 日 年間8～10回 1回2時間程度
- ・幼稚園4 小学校5 中学校3 計13学級
- ・対象、学級生数、学習目標、プログラム等は学級運営委員会で企画、実行する。
- ・プログラム内容は、「親と子のかかわり」や「親の姿勢」を中心課題とする。

2. 成人団体、グループ活動を奨励指導

町内成人団体活動を奨励し、連帯感のある地域づくりを図る。

3. 町民講座の開設

誰でも楽しめるテーマで講座を開設し、町民が気軽に参加できる機会を提供する。

- ・地域に密着した内容とする。
- ・期 日 11月～3月 5回予定
- ・対 象 一般町民
- ・文化会館、公民館事業とする。

4. こども相談室(なのはな)

家庭を中心とした子どものしつけ、教育、地域問題、親の在り方等に関する教育相談を子ども相談員が行う。

- ・会 場 児童館 面接指導または電話相談

5. 婦人団体の活動奨励

自主的な学習活動と地域活動を行う婦人団体を援助し、その活性化を図る。

6. 「家庭の日」の啓蒙

家庭教育の一環としての有意義な過ごし方を考え実行する機会とする。

- ・期 日 毎月第3日曜日

青少年教育

1．ふるさと学級

児童が郷土の文化と自然の中での学習を通してふるさとを見直し、地域社会の形成者としての自覚を高める。

- ・期 日 年間5～6回 休業期間に実施
- ・実施校 5校(町内各小学校)
- ・内 容 歴史、自然、ボランティア、野外活動、郷土の伝統継承、地域美化、農業体験等

2．青年団体との連携

連合青年団等の青年活動の活性化と地域活動への参加を促進する。

- ・内 容 富士山環境整備美化奉仕 宿泊研修 スポーツ大会
駿東地区青年教育振興協議会等

3．成人式の実施

- ・期 日 平成23年1月9日(日) 10:00～11:45(予定)
- ・会 場 総合文化会館 金太郎ホール
- ・内 容 式典

4．青少年問題協議会の開催

関係機関、団体相互の連絡調整機関としての働きを基盤に青少年の健全育成と青少年の諸問題を協議する。

- ・主として夏と冬に「青少年を守り育てる運動」を展開する。

5．青少年健全育成の推進

健やかな青少年の育成をめざして、地域住民の意識の高揚と活動を活性化させるための事業を推進する。

- ・内 容 青少年健全育成チラシ配布 駅伝大会参加奨励 教育講演会の開催
青少年のための科学の祭典inおやま

6．青少年補導員活動の推進

青少年健全育成のための補導活動と関係機関団体との連絡をとり、住みよい環境づくりを進める。

- ・内 容 補導員会議開催 夏祭り巡回 県下一斉補導の実施
声かけ運動への参加

7．広域青年教室の実施

駿東地区の2市3町により研修を通して青年相互の仲間づくりと、青年リーダーの育成を図る。

- ・対 象 18歳～30歳の青年

青少年問題協議会委員

任期 平成23年6月30日

区 分	氏 名	役 職 名
会 長	高 橋 宏	町長
副 会 長	込 山 恒 広	議会議長
"	戸 枝 浩	教育長
委 員	田 代 一 夫	議会文教厚生委員長
"	田 代 信 幸	副町長
"	眞 部 和 徳	富士学校総務課長
"	藤 波 弘 雅	御殿場警察署長
"	長谷川 健 介	小山交番長
"	山 下 清 春	須走中学校長
"	鳥 沢 孝 之	北郷中学校長
"	杉 山 由美子	小山高等学校長
"	尾 崎 宏 也	教育委員長
"	高 橋 豊 宏	社会教育委員長
"	尾 上 サトル	民生委員・児童委員協議会会長
"	米 山 芳 子	保護司代表
"	森 順	子ども会育成連合会長
"	山 口 泰 秀	区長会長
"	阿 部 達 也	連合青年団長
"	米 山 享 雄	商工会長
"	高 橋 浩 志	PTA連合会代表
"	池 谷 みゆき	連合婦人会長
"	長 田 忠 典	青少年補導員代表

青少年補導員

任期 平成23年3月31日

役 職	氏 名	役 職	氏 名
代 表	長 田 忠 典	補 導 員	北 條 和 広
補 導 員	野 田 泰 則	"	石 川 三 枝 子
"	武 藤 裕 作	"	山 口 恵 子
"	芹 沢 昌 美	"	岩 田 正 司
"	岡 田 卓 治	"	関 野 行 雄
"	長 田 哲 郎	"	白 井 範 博
"	込 山 眞 治		
"	長谷部 修 一		

芸術文化

1. 趣味の教室・講座の開設

- ・茶道教室 陶芸教室 手作りアクセサリー教室 パソコン教室 ステンドグラス教室
絵画教室 ゴルフ教室 絵封筒教室 フラダンス教室等を開設
- ・対象 一般町民
- ・会場 総合文化会館

2. 町民文化祭の開催等

文化活動の成果発表の機会として文化祭を開催する。

- ・第55回文化展
- ・第36回音楽祭
- ・第29回舞踊祭
- ・第16回囲碁祭
- ・第13回民踊祭
- ・第13回カラオケ祭
- ・第6回ダンスフェスタ
- ・期 日 10月16日(土)・17日(日)
10月23日(土)・24日(日)
- ・会 場 総合文化会館
- ・展示内容 文芸 華道 書道 絵画 陶芸 盆栽山草 写真 手芸 茶道等
- ・実行委員会を設ける。

3. 町明文芸誌の発行

文芸誌「駿河路」第80号を発行する。

- ・内 容 創作 紀行文 随筆 詩 俳句 短歌 川柳
第80号記念特集「私と富士山」他

4. 第32回駿河路のつどい開催

短歌、俳句、川柳を同一会場で開催し、文芸に親しむ愛好者の拡大を図る。

- ・期 日 11月19日(金)
- ・会 場 総合文化会館 集会和室他

文化財保護

1．指定文化財の保護

町内の国指定文化財1件、国登録文化財8件、県指定の文化財5件、町指定文化財17件の保護保全に努める。

2．文化財の発掘

文化財保護審議会委員を中心に埋もれた郷土の文化財を発掘し、後世に残るよう努める。また、図書館との連携により地域史資料の収集、保存に努める。

3．郷土芸能の育成援助

郷土芸能である「竹之下太鼓」と「大富士公時太鼓」の活動援助のための助成を行う。

4．文化財の調査

・埋蔵文化財、古文書等の文化財調査を実施し、町民への周知をはかる。

文化財保護審議会委員

任期 平成24年3月31日

職 名	氏 名
委 員 長	樽 林 一 美
副 委 員 長	大 箕 正 之
委 員	小 見 山 治 子
〃	若 尾 栄
〃	湯 山 富 士 子
〃	小 見 山 昌 弘
〃	鈴 木 利 昌
〃	池 谷 正 治
〃	山 本 敦 美
〃	北 村 喜 久 夫
〃	荒 川 博 文

町内の文化財

国指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地・特徴
特別名称	富士山	S27.11.22	

国登録文化財

種別	名称	指定年月日	所在地・特徴
建造物	豊門会館(和室)	H17.11.10	藤曲144-8 明治42年建築した和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。
建造物	豊門会館(洋館)	H17.11.10	和室と隣接し、和館の南側に位置する。平屋建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園西洋館	H17.11.10	藤曲142-7 昭和初期に建設。旧豊門青年学校。木造2階建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園正門	H17.11.10	藤曲144-8 大正14年建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げの門柱。
建造物	豊門公園噴水泉	H17.11.10	藤曲142-7 昭和初期に建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げで石積み風に目地を入れている。
建造物	豊門公園和田君遺徳碑	H17.11.10	藤曲144-8 大正14年建設。高さ3mの花崗岩製。朝倉文夫による独特な意匠。
建造物	森村橋	H17.11.10	小山133-6 明治39年建設。銅製プラットランス方式。設計は秋元繁松、製作は東京石川島造船所。
建造物	村松家住宅主屋	H20.7.8	須走31 昭和12年登記。木造平屋建て、面積123㎡。屋根は切妻造で土間と食堂、和室が接続。建築は清水組。

県指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地・特徴
彫刻	宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像	S60.3.19	竹之下1462 像高77.1m・檜材・寄木造・内割・漆箱・白毫に水晶玉・玉眼嵌入・南北朝期
天然記念物	富士浅間神社のハルニレ	S38.2.19	須走126 幹廻4m・樹高24.5m
天然記念物	大胡田天神社のイチヨウ	S41.3.22	大胡田643 幹廻7.6m・樹高20m
天然記念物	上野のトチノキ	S41.3.22	上野299 幹廻7m・樹高40m
天然記念物	柳島八幡神社の二本杉	S42.10.11	柳島168 幹廻5.2m・樹高31m・幹廻5.5m・樹高36m

町指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地・特徴
建造物	甘露寺宝篋印塔	S48.10.25	菅沼683 応永7年(1400年)徳勝和尚が後生善処のために造立。
建造物	乗光寺大森六代之墓	S48.10.25	生土234-1 大森頼直が正保元年(1644年)に墓石を移転。
建造物	嘉慶銘宝篋印塔	S63.12.16	菅沼2112-2 梅林内に位置する。
建造物	栗の木沢の唯念名号碑	H3.5.1	竹之下3676-20 高さ3.8m・横幅1.5m・厚さ0.8m
建造物	栗の木沢の題目碑	H4.6.1	竹之下3677-17 高さ3.56m・横幅1.24m 厚さ:中0.42m下0.6m
建造物	富士山東口本宮富士浅間神社社殿	H18.8.24	須走126 享保3年(1718年)に再建された社殿が現存。本殿、幣殿、拜殿が一体化しているという特徴を有す。
無形民俗文化財	竹之下太鼓	S59.12.21	竹之下区 富士登山する道者の無事を祈ったことに端を発する。
天然記念物	湯船八幡神社の夫婦スギ	S58.5.1	湯船371 大:根廻7.5m・目通5.65m・樹高35m 小:根廻5.6m・目通4.26m・樹高30m・樹齢約250年
天然記念物	上野神明社のツクバネガシ	S58.5.1	上野178 根廻6.1m・目通5.1m・樹高20m・樹齢約300年
天然記念物	富士浅間神社のエゾヤマザクラ	S58.5.1	須走126 根廻2.08m・目通1.75m・樹高8m・樹齢約110年
天然記念物	富士浅間神社の根上りモミ	H3.5.1	須走126 根廻4.61m・目通3.07m・樹高27m・樹齢約300年
天然記念物	棚頭産神社のスギ	S63.12.16	棚頭714 甲:根廻6.45m・目通5.6m・樹高23m 乙:根廻6.4m・目通5.2m・樹高23m・樹齢約400年
天然記念物	用沢八幡宮の三本スギ	S63.12.16	用沢517 根廻10.3m・目通:甲3.4m・乙5m 丙3.5m・樹高約30m・樹齢約300年
彫刻	坂下区十王堂地藏菩薩坐像	H21.12.16	菅沼707-1 桧・寄木造・漆箱 肉身金泥塗り、玉眼像高:34.4cm 室町時代後期～江戸時代初期

絵	画	坂下区十王堂十王図	H21.12.16	菅沼707-1 紙本着色・紙継ぎなし 表装後補 縦：111.4～112.0cm 横：37.0～37.5cm 文化元年(1804年) 10幅全て、同一人物による作品
書跡・典籍・古文書		坂下区十王堂木食観正宝号軸	H21.12.16	菅沼707-1 絹本墨書・絹継ぎなし 布表装 作者：木食観正 縦：67.9cm 横：33.8cm 作者が小山町に滞在した文政7年(1824年)頃
彫	刻	坂下区十王堂石仏	H21.12.16	菅沼707-1 17体 丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色 像高：25.8～41.8cm 延宝8年(1680年)を遡る江戸時代初期

小山町文化財地名表

	遺跡名	時代	種別	所在地	地目	遺構	遺物	文献
1	上野奥の沢遺跡	縄文中期	散布地	上野北山	林・沢		縄文土器	
2	上野堀之内	中世	城館	上野字堀之内	境内	空堀・土塁		
3	湯船遺跡	縄文	散布地	湯船	工場		縄文土器	
4	湯船城	中世	城館	湯船字附野	山林			
5	柳島遺跡	縄文中期	散布地	柳島堀	公民館		縄文土器	
6	湯船堀之内	中世	城館	湯船字下耕地	水田			
7	藤曲屋敷	中世	城館	藤曲字宮原	宅地			
8	生土城	中世	城館	生土字城山	山林	曲輪・空堀・井戸跡		静岡県の中世城館跡
9	御園平遺跡	縄文前～後期	散布地	生土御園平	畑	列石	縄文土器	
10	御園遺跡	縄文中期	散布地	生土御園	宅地		縄文土器・石斧・石棒	静岡県史第1巻
11	用沢堀之内	中世	城館	用沢字坂本	水田			
12	一色城	中世	城館	一色島土	水田・宅地			
13	沼子遺跡	縄文	散布地	柳島字沼子	水田・畑			確認調査報告書
14	中の丸遺跡	古墳・古代	散布地	上古城中の丸	境内		土師器・須恵器	静岡県郷土研究1
15	一色遺跡	縄文	散布地	一色上大畑	水田		縄文土器	
16	岩田館	中世	城館	菅沼字菅沼	宅地			
17	打越館	中世	城館	吉久保字打越	宅地			
18	吉久保遺跡	縄文中期	散布地	吉久保	水田		縄文土器	
19	下古城(古城)	中世	城館	下古城字永塚	水田	土塁		
20	上矢台遺跡	縄文後期	散布地	竹之下上矢台	林・原野		縄文土器	静岡県史
21	竹之下堀之内	中世	城館	竹之下字堀之内	宅地			
22	竹之下屋敷(城ヶ腰)	中世	城館	竹之下字城ヶ腰	宅地	井戸跡		
23	高畑城(高畑山)	中世	城館	竹之下	山林			
24	大曲遺跡	古墳～平安	散布地	竹之下大野原	宅地			
25	ゼンコージ遺跡	古代	散布地	竹之下善光寺	山林		土器	
26	新見堂遺跡	縄文晩期	散布地	竹之下新見堂	山林		縄文土器・磨製石斧	
27	横山遺跡	古墳後期～中世	集落	竹之下上横山	高校	住居跡・柵列	土師器・須恵器	横山遺跡概報
28	上横山遺跡	奈良・平安	散布地・集落	竹之下上横山	工場		土師器・須恵器・鉄製品	上横山遺跡報告書
29	桑木沢田遺跡	平安	集落	桑木	宅地	住居跡	陶磁器・構築礎	沢田遺跡確認調査報告書
30	古瀧遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
31	クラモンザ遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
32	新柴堀之内	中世	城館	新柴字堀之内	宅地	井戸跡		
33	ワデ遺跡	縄文後期	散布地	桑木ワデ	田・宅地		縄文土器	
34	向桑木遺跡	縄文中期	散布地	桑木一ノ沢	山林		縄文土器	
35	池の沢遺跡	弥生	散布地	桑木池の沢			弥生土器	
36	八重山屋敷	中世	城館	小山字八重山	宅地			
37	足柄城	中世	城館	竹之下峠	山林	曲輪・空堀・井戸跡・土塁		調査報告書
38	足柄峠 遺跡	縄文中期・後期	散布地	竹之下峠	山林		縄文土器	
39	足柄峠 遺跡	古墳・古代	散布地	竹之下峠	山林		土師器・須恵器	
40	尾立城	中世	城館	生土	山林	竪土塁		調査報告書
41	南ノ原遺跡	奈良	集落	桑木字上の原	工場	住居跡・土坑	土師器・須恵器・鉄製品	調査報告書
42	富士山	特別名勝						

中央公民館・児童館（併設・平成12年4月1日）



所在地	小山町藤曲577
敷地面積	840.00㎡
建物面積	1階面積 271.40㎡ 2階面積 243.10㎡
延床面積	514.50㎡
施設内容	小会議室・大会議室 和室・書庫
・中央公民館開設	昭和45年4月1日
・中央公民館長	戸枝浩(兼務)
・児童館開設	昭和40年4月1日
・児童館長	土屋和彦(兼務)
・職員	2名
電話番号	76-1293

幼児・児童の健全な育成と福祉の向上をはかるため、児童館活動を通して豊かな遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにする。その他、子ども会育成連合会、地域活動連絡協議会(母親クラブ)活動の一層の充実と地域の少年活動を推進する。

月	事業名	月	事業名
4	わくわくクッキング ぺんぎんランド	10	ハーブのすてきな小袋 ぺんぎんランド 農作物体験（枝豆収穫） あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン
5	すてきなプレゼント作り ぺんぎんランド あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン	11	ビーズアクセサリーづくり ぺんぎんランド 農作物体験（大豆収穫） あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン
6	すてきなプレゼント作り ぺんぎんランド 農作物体験（種まき） あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン	12	わくわくクッキング クリスマス会 ぺんぎんランド あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン
7	ぺんぎんランド あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン	1	新年おたのしみ会 ぺんぎんランド 農作物体験（豆腐づくり） あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン 節分の会
8	わくわくクッキング 親子木工教室 ぺんぎんランド(ミニ夏まつり) あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン	2	わくわくクッキング ぺんぎんランド あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン
9	ぺんぎんランド あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン	3	生涯学習フェスティバル （人形劇を楽しむ会） ぺんぎんランド あつまれサイエンスキッズ 誰でもエジソン

図 書 館



所在地	小山町阿多野130
建物面積	951.23㎡
蔵書数	104,396冊
開設	平成4年4月
職員	4名
電話番号	76-4270

町民の生涯学習の拠点として、常に身近にあって日々の暮らしに何らかの形で役に立つ図書館を目指し、さらに資料情報センターとしての役割を持ち、心豊かな人づくりをバックアップする図書館としての運営に努める。

1. 資料の収集と整理

図書資料の充実を図るため、年間図書購入計画、寄贈図書の受け入れなどでその達成に努力する。

新刊本の選書等

新刊案内等により選書し、各分類別の平均化に配慮する。

利用者ニーズに応えるため、リクエストによる収集を行う。

郷土資料等の収集と保存管理

官公庁及び各種団体、企業、個人等が発行した郷土資料刊行物の収集と保存。地域発行新聞・雑誌等を製本保存し、資料の蓄積に努める。

富士のある町として積極的に富士山資料の蓄積に努める。

児童書等寄贈本の受け入れ整理

利用者からの寄贈本の受け入れを行う。

分類及び付帯装備と資料情報の電算入力作業。

視聴覚資料の収集

AV資料の収集。

廃棄図書の選択と整理事務

傷んだ本等を選択し除籍手続きをする。

ふれあい広場に合わせ、古雑誌市を開催する。

蔵書点検・管理事務

年1回図書の移動、不明図書等把握のための点検作業を行い、蔵書管理に努める。

2. 図書館活動・館内サービスの充実

資料情報センター及び生涯学習の拠点として、図書館資料を媒体とした活動を展開する。

レファレンス等、利用者へのサービスに努める。

リクエストには、購入又は図書館の相互貸借を活用する。= 随時

読書グループ等の育成と援助

図書館ファンクラブ = 夏休み期間 定員20名(小学校3～6年生対象)

絵本・紙芝居等の読み聞かせ

お話しコーナー = 館内利用者対象

図書館ブックスタートの実施

メッセージを伝えながら絵本を手渡す、5・6か月児とその保護者を対象にした
“絵本を介しての子育て支援”を年6回実施

図書館講座の実施

児童講演会、古典文学講座、図書館教養講座

移動文庫、団体貸し出し

役場本庁と2支所に移動文庫を設置し、利用サービスに努める。

老人ホーム・幼稚園・児童館・学校等への団体貸し出しを奨励する。

ボランティア活動の育成

図書館活動協力員の募集 = 活動通年 現在31名・絵本の読み聞かせと図書館整理
作業・ブックスタート

図書館だよりの発行

毎月1回発行し図書館情報の広報に努める = 部数500枚

本のリサイクル市の開催

家庭における不用本のリサイクル市を行ない、町民サービスの向上を図る。

乳幼児・児童本(絵本等)の選定目録作成(よんでみて!この1冊)

館内及びPR用目録として200部作成し幼稚園、保育園、学校に配布。

電算システムの運用

図書館電算システムの運用により、利用者用タッチパネルで検索が自由にできる。

開館時間の延長

毎週金・土曜日は、利用者の利便をはかるために開館時間を午後7時まで実施する。

(夏休み期間中は毎週金・土曜日以外は午後6時まで実施する。)

臨時学習室の開設

夏休み全日、学習者の利便をはかるために開館時間、臨時学習室を別室に随時
設ける。

3. その他

図書館を利用したいと思っている身体障害者等の図書館利用、弱者の方々への
サービスの提供について積極的に機材を用意し利用に努める。

自主文化関係事業

いつきても何か楽しい文化会館を目標に、感動を与える事業の実施をすすめる。

1. 文化活動を通じて、生涯学習を推進する

- (1) 会館利用者、事業回数の増加
- (2) いつきても何か楽しい会館づくりの推進
- (3) 会館ロビーの活用等、町民文化活動への援助
- (4) 幅広い年代で楽しめる自主文化事業の実施

内 容	開催日	内 容	開催日
サンリオクラシック音楽会	5月23日(日)	スタインウェイを弾いてみよう	9月26日(日)
スタインウェイを弾いてみよう	6月 6日(日)	劇団四季ミュージカル	10月10日(日)
人形劇フェスティバル	6月13日(日)	中野振一郎のチェンバロリサイタル	11月13日(土)
小学校芸術鑑賞会 「魂の鼓動」アフリカの音楽	6月16日(水)	中学校芸術鑑賞会	11月24日(水)
琉神&ようそろ公演	7月10日(日)	ハンドベルコンサート	12月25日(木)
スタインウェイを弾いてみよう	8月 7日(土)	菜の花音楽館	2月12日(土)
スタインウェイを弾いてみよう	8月18日(水)	わくわく映画館	2月20日(日)
水森かおりコンサート	9月19日(日)	菜の花音楽館	3月12日(土)
スタインウェイを弾いてみよう	9月25日(土)	人形劇「稲村の火」	未 定

2. 入場者の安全を確保するための、管理の充実

3. 委託事業内容を点検し効率的な執行の確保

社会体育

1. 社会体育事業一覧表(いつもチャレンジ生涯学習)の各戸配布
 体力づくりや健康に対する関心を高めると共に、町民への広報のための年間体育事業一覧表を各戸に配布する。
 - ・配布時期 4月
 - ・掲載内容 教育委員会、体育協会、地区体育振興会等の事業、期日、対象、会場等
2. 体育関係団体との連携
 体育協会や地区体育振興会との連携により、地域に根ざしたスポーツ活動を展開し、生涯スポーツの振興を図る。
3. 体育指導委員の派遣
 各種団体の要請により、体育指導委員を派遣し、生涯スポーツの振興を図る。

体育指導委員

任期 平成22年3月31日

職名	氏名	職名	氏名
委員長	関 富 芳	委員	勝 亦 淳
副委員長	眞 田 拓 史	〃	田 代 哲 也
委員	山 本 章 子	〃	高 橋 健 太 朗
〃	長 谷 川 和 之	〃	村 上 晴 美
〃	杉 浦 紀 子	〃	塚 原 昌 代
〃	岩 田 勝 彦	〃	仲 井 秀 弥
〃	武 藤 淳 一	〃	望 月 一 馬

4. 体育施設の開放
 - 学校体育施設開放 年間(有料)
 - 町民プール開放(無料) 7月20日(火)～8月31日(火) 金時公園内
 - 夜間照明施設開放(有料) 4月 1日(木)～3月31日(木) 北郷・小山中学校内及び須走小学校内
 - 総合体育館無料開放(無料) 毎月第4金曜日の午後7時～午後9時
5. 各種大会の開催
 - ・教委関係
 レクスボ祭 スポーツ少年団交流大会
 - ・体協関係
 陸上競技記録会(御殿場市体協と共催) 町民スポーツ祭 富士マラソンフェスタ
 町内一周駅伝大会及び周回コース駅伝 パークゴルフ大会 グラウンドゴルフ大会
 ハイキング

6. 各種教室、講習会の開催

- ・教委関係・・・一輪車教室 アクションキッズ教室 ラッコ(親子体操)教室
ママとベビーのハッピーストレッチ ファミリーバドミントン講習会
- ・体協関係・・・弓道教室 野球教室 卓球教室 バドミントン教室 バレーボール教室
ファミリーバドミントン教室 ニュースポーツ教室 リアル野球盤教室

7. その他

駿東地区レクスポ大会 しずおかスポーツフェスティバル 国民体育大会等参加奨励

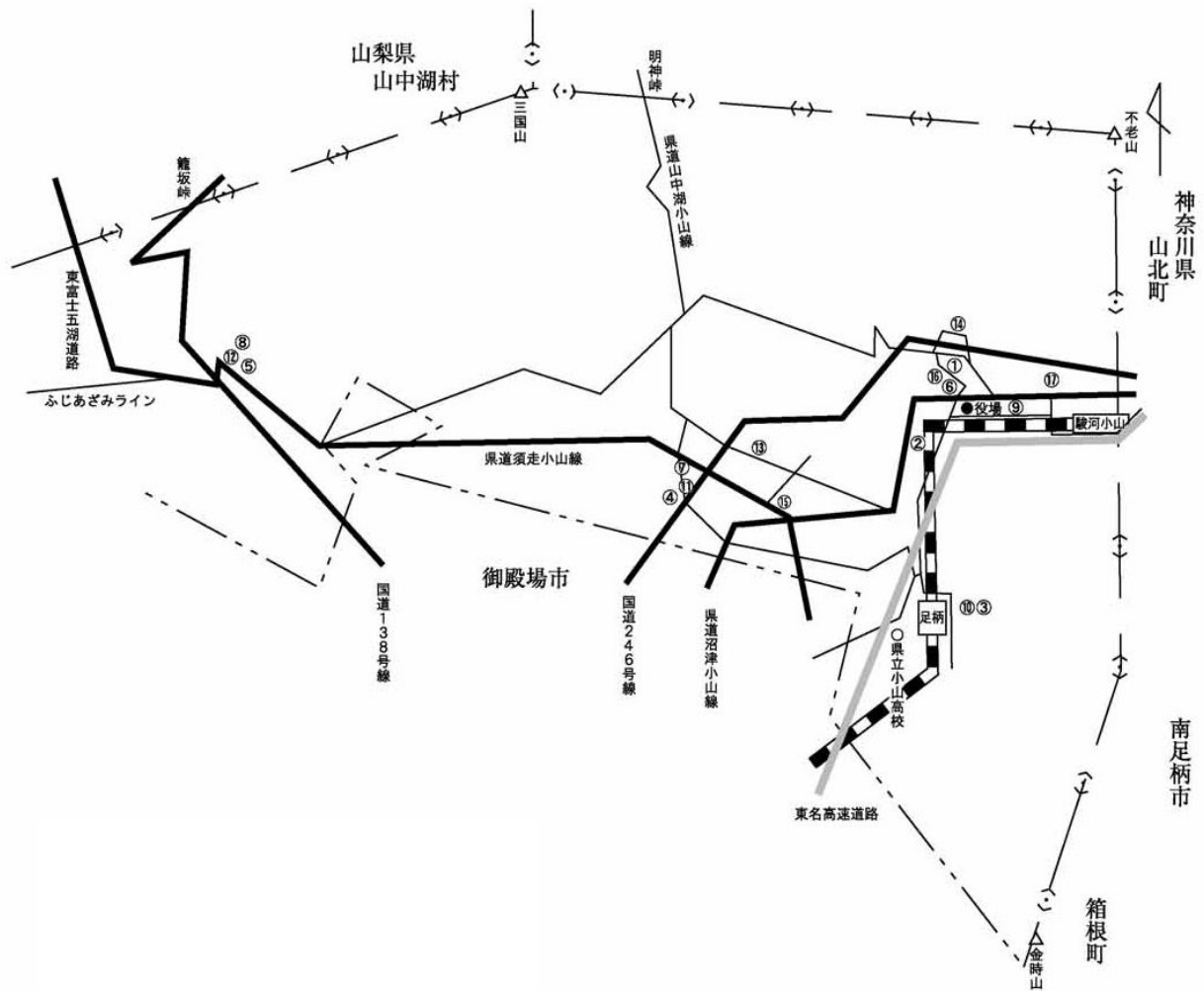
各種団体、大会への助成

小山町体育施設一覧

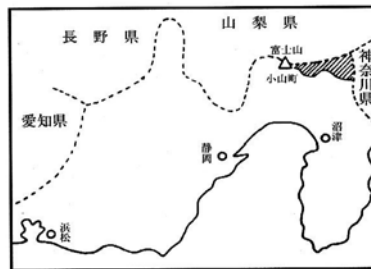
総合体育館	所在地	小山町阿多野125
	敷地面積	27,214.00㎡
	建物面積	1階 2,587.44㎡ 2階 976.27㎡ アリーナ 34m×54m 観覧席 288席
	延床面積	3,563.71㎡
	開設	平成8年4月
	電話番号	76-5708
多目的広場	所在地	小山町吉久保40-1
	敷地面積	17,514㎡
	用途	400mトラック・サッカー・ ソフトボール・ゲートボール
	規模	屋外便所 70.0㎡ シェルター 48.0㎡
	駐車場収容台数	124台
	開設	平成6年6月
小山球場	所在地	小山町阿多野35
	敷地面積	16,680㎡
	建物面積	535.84㎡ (管理棟 497.6㎡) (ダックアウト 19.12㎡×2) 観客席 780席
	グラウンド	両翼94m・中堅121.9m バックストップ 18.6m
	開設	平成6年6月
小山道場	所在地	小山町吉久保5-1
	敷地面積	427.67㎡
	建物面積	157.41㎡
	延床面積	167.13㎡
開設	平成9年3月	
弓道場	所在地	小山町阿多野136-8
	敷地面積	1,285㎡
	建物面積	165.02㎡ (射場 125.87㎡) (的場 39.15㎡)
	開設	平成6年4月

町民プール	所在地	小山町中島213-1
	敷地面積	1,100㎡
	本プール	25m×15m
	幼児用プール	10m×10m
	開設	昭和45年9月
町立体育館	所在地	小山町藤曲577
	敷地面積	2,566㎡
	建物面積	1,579㎡
	開設	昭和43年11月
小山地区児童屋内体育施設 (小山中に併設)	所在地	小山町藤曲144-10
	建物面積	1,478.61㎡
	開設	昭和57年3月
藤曲地区児童屋内体育施設 (成美小に併設)	所在地	小山町藤曲150-2
	建物面積	1,126.26㎡
	開設	昭和54年3月
菅沼地区児童屋内体育施設 (明倫小に併設)	所在地	小山町菅沼630-6
	建物面積	1,122.66㎡
	開設	昭和53年3月
用沢地区児童屋内体育施設 (北郷小に併設)	所在地	小山町用沢604-7
	建物面積	1,126.26㎡
	開設	昭和56年3月
須走地区児童屋内体育施設 (須走小に併設)	所在地	小山町須走99-1
	建物面積	1,009.14㎡
	開設	昭和52年3月
小山地区夜間照明施設	所在地	小山町藤曲144-10
	照明灯	8基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成10年4月
北郷地区夜間照明施設	所在地	小山町用沢351-2
	照明灯	6基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	昭和57年4月
須走地区夜間照明施設	所在地	小山町須走70-18
	照明灯	6基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成13年4月
小山町パークゴルフ場	所在地	小山町吉久保221
	面積	8,739㎡
	コース全長	804m
	A(ふじ桜)コース	9ホール パー33
	B(菜の花)コース	9ホール パー33
	開設	平成15年4月
	電話番号	090-4408-5386

小山町教育機関配置図



- | | |
|--------------|----------|
| 成美小学校 | 生涯学習センター |
| 藤曲地区児童屋内体育施設 | 総合文化会館 |
| 明倫小学校 | 図書館 |
| 菅沼地区児童屋内体育施設 | 総合体育館 |
| 足柄小学校 | 多目的広場 |
| 北郷小学校 | 小山球場 |
| 用沢地区児童屋内体育施設 | 弓道場 |
| 須走小学校 | 小山道場 |
| 須走地区児童屋内体育施設 | 町民プール |
| 小山中学校 | パークゴルフ場 |
| 小山地区児童屋内体育施設 | 中央公民館 |
| 夜間照明施設 | 児童館 |
| 北郷中学校 | 町立体育館 |
| 夜間照明施設 | 地域資料室 |
| 須走中学校 | |
| 駿河小山幼稚園 | |
| 足柄幼稚園 | |
| 北郷幼稚園 | |
| 須走幼稚園 | |



面積 136.13km²
 人口 20,622人
 世帯数 7,534世帯
 (H22.4.1)

小山町教育委員会

学校教育課 〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲57番地の2
TEL : 0550-76-6122(直通)
FAX : 0550-76-2795

生涯学習課 〒410-1321 静岡県駿東郡小山町阿多野130番地
TEL : 0550-76-5700(直通)
FAX : 0550-76-3290

平成22年度

小山町の教育

発行者 小山町教育委員会

題 字 岩 田 明 倫